教育課程委員会報告

「教育課程」に関する調査

- I 教育課程について
- Ⅱ 学校改革について
- Ⅲ 産学連携・地域連携について
- IV 学習指導・評価について

(令和2年10月)

り

		が き
		1的 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		8過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
調		告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	Ι	教育課程について 3
	C) 調査目的
	1	教育課程の実施について
		(1) 編成上の基本的な考え方について
		(2) 取り組む内容について
		(3) 卒業までの履修単位について
		(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について
		(5) 進学希望者の指導について
		(6) 大学入試・外部検定試験について
		(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて
		(8) 遠隔システムについて
	2	3, G 12
	П	学校改革について · · · · · · · · · 1 5
	\subset) 調査目的
	1	学校改革・活性化について
		(1) 学校改革・学校活性化について
		(2) 職員の意識改革について
		(3) 長期休業期間について
		まとめ
	Ш	産学連携・地域連携について・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
	С) 調査目的
	1	
		(1) インターンシップの実施について
		(2) 実施している学校の実施内容について
		(3) インターンシップが実施できない理由について
		(4) 2019年度以降の実施対象者について
	2	デュアルシステムについて
		(1) デュアルシステムの実施について
		(2) 実施している学校の実施内容について
		(3) 実施していない学校の実施上の問題点について
	3	
		(1) 生徒による地域活動について
		(2) 実施している学校の実施内容について
		(3) 地域の力を生徒の技術指導に生かすことについて
		(4) 実施している学校の実施内容について

4 高・大学等連携について (1) 大学や専門学校等との連携の実施について (2) 実施している学校の実施内容について 5 学校開放講座について (1) 学校開放講座の実施について (2) 実施している学校の実施内容について
6 まとめ
IV 学習指導・評価について ····································
1 授業評価について(1) 生徒による授業評価について
(2) 実施している学校の授業への還元について
(3) 地域の人や保護者による授業評価について (4) 取り組んでいる学校の授業への還元について
2 学習評価の改善について
(1) 学校全体での改善について
(2) 体制づくりについて
(3) 評価指標や評価方法について
3 まとめ
あ と が き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

ま え が き

全国工業高等学校長協会の教育課程委員会は、平成 30 年度から九州地区が担当になり、研究を開始させました。本委員会では、教育課程の編成、学校改革、産学連携、学習指導等についてアンケートを実施し、各学校がどのように工業教育を実践しているかを集約・分析し、今後の工業教育推進に資するように調査・研究を行うものです。

これまで、工業教育においては、平成7年に文部科学省が提唱した「スペシャリストへの道」をもとに、将来のスペシャリストの育成に取り組んできました。全国工業高等学校長協会では、平成17年度に「全国工業教育理念検討委員会」が最終報告をまとめ、工業教育の指針を示しています。平成25年度からは、現行の高等学校学習指導要領が年次進行で実施となり、専門高校は、①将来のスペシャリストの育成、②地域産業を担う人材の育成、③人間性豊かな職業人の育成に取り組んできました。そして、平成30年3月に高等学校学習指導要領が改定となり、令和4年度から年次進行で実施されることとなっています。

このたびの調査は、主に現行における学習指導要領をもとにした工業教育等に関して、調査・ 分析したものです。新学習指導要領が示されたことに伴い、すでに各校においては、新しい取組 みや実践に着手されているものと考えます。今後は、その新しい取組みや実践についても調査・ 分析したいと考えています。

本委員会では、年度初めのアンケート結果を地域別にまとめ、表とグラフで示すとともに、各アンケート項目についてコメントし、大項目ごとにその概要をまとめました。各高等学校におかれましては、将来の学校像を検討し、特色ある学校づくりや開かれた学校づくりを推進するうえで、この調査結果を参考にし、役立てていただければ幸いです。

本調査に御協力いただいた会員校の関係各位に御礼を申し上げます。

大 保 委員長 智 鹿児島県立薩南工業高等学校長 鹿児島県立鹿児島工業高等学校長 副委員長 満丸 浩 碇山 鹿児島県立出水工業高等学校長 委 員 浩 委 員 大山良一 鹿児島県立加治木工業高等学校長 委 員 帆 西 弘 幸 鹿児島県立川内商工高等学校長 委 員 末吉成人 鹿児島県立鹿屋工業高等学校長 委 大 迫 浩 之 鹿児島県立隼人工業高等学校長 員

令和2年10月

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 調 査 研 究 部 教 育 課 程 委 員 会

研究の目的

現行の学習指導要領は平成 21 年 3 月に告示され、平成 25 年度から実施されている。教職員には研究と修養に励むことや、養成と研修の充実が求められてきた。各会員校においても、工業教育の在り方等について社会の変化に対応しながら見直すとともに、その充実と改善に努めてきたところである。

平成30年3月には新学習指導要領が公示され、これまでの取り組みや成果等を踏まえながら、教育課程全体をもう一度見直し、改善を図っていく必要があり、各会員校はこれらに基づく新しい教育課程を創る準備をされていることと推察する。

そこで、教育課程委員会では、これまでの各会員校の工業教育の推進及び工業技術者の育成について、全国の工業高等学校をはじめ工業系の高等学校に、以下の項目について現状調査を行い、その集約・分析を行った。

<調查項目>

I 教育課程について

Ⅱ 学校改革について

Ⅲ 産学連携・地域連携について

Ⅳ 学習指導・評価について

研究の経過

令和元年12月2日 令和元年度第2回教育課程委員会開催

令和2年度の調査研究のテーマ、調査項目及び

アンケート内容についての検討

令和2年5月 初旬 会員校へのアンケート調査

令和2年6月 3日 令和2年度第1回教育課程委員会開催

令和2年7月 1日 アンケートの集約と分析作業開始

令和2年7月~8月 アンケートの集約結果の検討と分析作業

アンケートの集約結果のまとめと研究報告書案作成

調査のまとめと研究報告書最終案の提出

令和2年11月予定 令和3年度の調査研究についての検討

これらの調査は、全会員の校長を対象に、悉皆調査を行った。下表に回答状況を示す。

なお、調査項目によっては一部未回答の学校があり、設問によっては回答に重複を許している ため、各調査において合計の学校数が異なる。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近 畿	中国	四国	九州	合 計
対象校	19	77	115	47	67	74	59	27	104	589
回答数	19	77	115	45	67	74	59	26	104	586

調査報告

I 教育課程について

〇 調査目的

現行高等学校学習指導要領に基づく教育課程が、数学、理科及び理数に属する科目においては平成24年度から先行実施され、平成25年度より年次進行で実施されている。その後新学習指導要領が平成30年3月に公示され、各学校でもこれまでの取り組みの成果等を踏まえながら教育課程の見直しや改善が図られている。これから更に改善等の検討が加速されることと推察するが、教育活動の充実・発展に資するため、各学校の教育課程への対応状況について調査した。また、進学希望者に対しての学習指導についても昨年度と比較するために調査した。

1. 教育課程の実施について

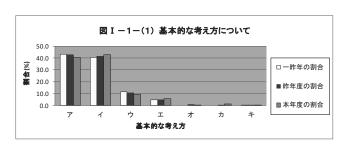
(1)編成上の基本的な考え方について

編成上の基本的な考え方は何ですか。(2つ以内)

- ア 基礎的な学力の定着 イ 専門的な技術・技能教育の充実
- ウ キャリア教育の推進 エ 大学等進学希望者への対応
- オ グローバル化への対応 カ 産業界との連携 キ その他

表 I-1-(1)基本的な考え方について

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	+	合計
北海道	16	15	4	1	1	0	0	37
東北	55	63	21	6	0	3	0	148
関東	85	90	17	18	3	3	1	217
北信越	30	36	10	9	0	2	1	88
東海	55	53	10	7	0	2	1	128
近 畿	54	60	11	11	0	2	0	138
中国	45	53	10	3	0	1	0	112
四国	24	22	5	1	0	0	0	52
九 州	91	87	16	6	0	1	0	201
合 計	455	479	104	62	4	14	3	1121
本年度の割合	40.6	42. 7	9. 3	5.5	0.4	1. 2	0. 3	100
昨年度の割合	42. 7	41.3	10.4	4.6	0.5	0.5	0. 1	100
一昨年の割合	43.1	40.5	11.4	4.9			0.2	100



ここ数年、傾向は大きく変わっておらず、「基礎的な学力の定着」「専門的な技術・技能教育の充実」が40%を超えている。昨年追加した「グローバル化への対応」「産業界との連携」は1.2%以下と少なかった。

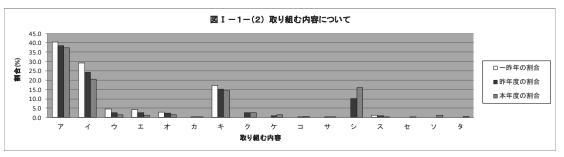
(2)取り組む内容について

教育課程の実施にあたって、特に取り組む内容はなんですか。(3つ以内)

- ア 基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用 イ 学習習慣の確立
- ウ 伝統や文化に関する教育 エ 環境保全に関する教育
- オ 自他の生命を尊重する精神の涵養 カ 食育の推進 キ 安全教育の推進
- ク 言語能力の育成 ケ 理数教育 コ 道徳教育 サ 外国語教育
- シ 職業教育 ス 主権者教育 セ 消費者教育 ソ 情報教育 タ その他

表 I - 1 - (2) 取り組む内容について

	24.2	-	· — /				-										
	ア	1	ウ	I	オ	カ	+	ク	ケ	П	サ	シ	ス	ュ	ソ	タ	合計
北海道	19	12	0	1	1	1	4	1	1	0	0	11	0	0	0	0	51
東北	72	40	3	4	1	0	34	7	3	1	0	31	0	0	1	0	197
関東	108	57	5	2	4	0	37	7	9	2	4	55	0	0	4	3	297
北信越	45	18	1	2	1	0	18	5	2	1	0	23	0	0	1	3	120
東海	67	39	2	3	2	1	25	7	3	0	1	27	0	0	2	2	181
近 畿	71	46	5	3	3	0	24	4	3	1	0	30	0	0	3	1	194
中国	58	36	1	1	1	0	20	2	0	1	0	21	1	1	1	1	145
四国	25	10	2	1	3	1	6	2	1	2	0	12	0	0	0	0	65
九州	102	55	4	2	6	0	52	3	2	1	1	36	0	0	7	0	271
合 計	567	313	23	19	22	3	220	38	24	9	6	246	1	1	19	10	1521
本年度の割合	37. 3	20.6	1.5	1. 2	1.4	0.2	14.5	2. 5	1.6	0.6	0.4	16. 2	0.1	0.1	1.2	0.7	100
昨年度の割合	38. 3	24. 3	2. 6	2. 5	2. 3	0.1	15. 1	2. 6	0.9	0. 1	0.3	10. 2	0.8				100
一昨年の割合	40.5	29.3	4. 6	4. 3	2. 8		17. 2						1. 2				100



「基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用」「学習習慣の確立」は20%を超えている ものの減少傾向にある。本年追加した「消費者教育」「情報教育」は少なかった。

(3) 卒業までの履修単位について

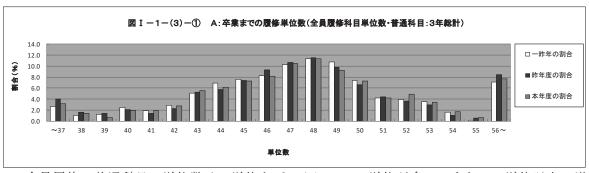
(学科・コースによって異なる場合は、単位数を代表的な学科・コースについて記入してください。)

	全員履修和	斗目単位数	選択科目単位	拉数 (最大)	総合的な学習の	課題研究の
	普通科目	専門科目	普通科目	専門科目	時間の単位数	単位数
					(代替は含まない)	(代替を含む)
総計	(A) 単位	(B) 単位	(C) 単位	(D) 単位	(E) 単位	(F) 単位

① 卒業までの履修単位について(学科・コースによって異なる場合は代表的な学科・コースで回答)

A:全員履修科目単位数(普通科目)

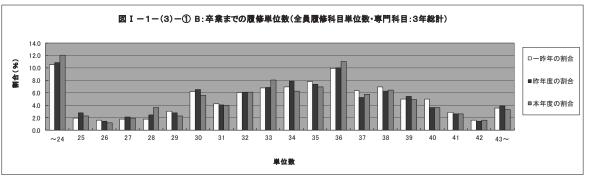
表 I - 1 -	(3) -	-①	A : 卒	業まで	の履修	単位数	(全員	履修科	∤目単イ	立数 ·	普通科	· 目 : 3年	F総計)								
	~37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56 ~	合計
北海道	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	4	2	2	1	1	0	0	0	2	19
東北	1	0	0	1	1	0	1	5	1	7	7	12	13	8	5	5	2	3	0	5	77
関東	2	2	0	3	3	0	7	6	12	10	11	10	12	8	1	6	4	1	0	12	110
北信越	3	1	0	0	0	0	1	0	5	2	6	5	0	3	4	4	3	2	0	4	43
東海	1	4	0	2	2	5	8	6	7	5	2	6	1	4	1	3	1	1	2	5	66
近 畿	4	1	2	1	3	4	6	6	7	6	4	4	7	5	2	1	3	1	0	5	72
中国	1	0	1	1	0	3	2	4	4	4	8	7	7	3	2	1	2	1	1	6	58
四国	1	0	0	1	0	1	0	1	2	5	4	3	5	1	0	1	0	0	0	1	26
九 州	4	0	1	2	2	3	7	7	3	8	13	14	6	8	8	6	5	1	1	4	103
合 計	18	8	4	11	11	16	32	35	42	47	60	65	53	42	24	28	20	10	4	44	574
本年度の割合	3. 1	1.4	0.7	1.9	1.9	2. 8	5. 6	6.1	7.3	8. 2	10.5	11.3	9. 2	7. 3	4. 2	4. 9	3.5	1.7	0. 7	7. 7	100
昨年度の割合	4.0	1.6	1.4	2. 1	1.4	2. 3	5. 2	5.8	7.3	9.3	10.7	11.5	9.8	6.6	4.4	3. 7	3.0	1.0	0.5	8. 4	100
一昨年の割合	2. 6	1.1	1. 2	2. 5	1.9	2. 8	5. 1	6.9	7.6	8. 3	10. 2	11.3	10.7	7.4	4. 2	3. 9	3.5	1.6	0. 2	7. 0	100



全員履修の普通科目の単位数は48単位をピークに45~50単位が多い。また、50単位以上で増加傾向にあり、56単位以上の学校は7.7%である。

B:全員履修科目単位数(専門科目)

表 I - 1 -	(3) -	-1	B:卒	業まで	の履修	単位数	(全員	履修和	4目単	位数 • ∶	専門科	目:3	年総計	-)							
	~24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43~	合計
北海道	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	5	4	1	3	0	0	0	0	19
東北	8	1	0	1	2	2	2	6	5	5	3	11	8	5	8	4	0	1	0	4	76
関東	14	4	2	4	6	4	7	4	6	11	5	10	9	7	4	4	4	3	0	2	110
北信越	5	0	0	1	0	0	2	1	7	6	6	4	4	1	1	1	2	0	1	0	42
東海	9	1	2	2	4	1	0	2	3	6	3	1	3	6	5	4	7	2	3	2	66
近 畿	16	3	1	1	3	1	4	2	5	5	6	1	7	5	2	0	2	4	0	3	71
中国	5	0	0	0	3	4	5	5	3	3	4	2	9	1	7	1	2	0	3	1	58
四国	1	2	2	1	1	0	1	0	0	3	2	3	3	1	1	1	3	1	0	0	26
九州	8	2	0	0	2	1	11	3	5	7	7	7	15	3	8	10	1	4	2	7	103
合 計	69	13	7	11	21	13	32	23	35	46	36	40	63	33	37	28	21	15	9	19	571
本年度の割合	12.1	2. 3	1. 2	1.9	3.7	2. 3	5.6	4.0	6. 1	8. 1	6.3	7.0	11.0	5.8	6.5	4. 9	3.7	2. 6	1.6	3.3	100
昨年度の割合	10.9	2. 8	1.4	2. 1	2.5	2. 8	6.5	4. 0	6. 2	6. 9	7. 9	7.4	10.0	5.3	6.3	5.4	3. 7	2. 6	1.4	3. 9	100
一昨年の割合	10.5	2. 0	1.6	1.8	1.8	3.0	6. 2	4. 3	6.0	6.8	6.9	7.8	10.0	6.4	6.9	5.0	5. 0	2. 8	1.6	3.6	100

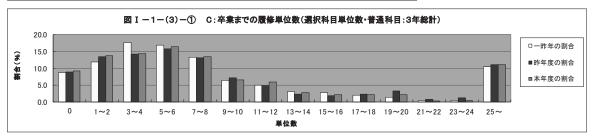


36単位の学校が最も多い。

C:選択科目の単位数(普通科目)

表 I - 1 - (3) -① C:卒業までの履修単位数(選択科目単位数・普通科目:3年総計)

	0	1~2	3~4	5~6	7~8	9~10	11~12	13~14	15~16	17~18	19~20	21~22	23~24	25~	合計
北海道	4	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17
東北	6	20	10	15	5	1	2	3	3	0	1	0	0	6	72
関東	7	9	22	31	6	8	8	2	2	1	9	0	0	7	112
北信越	2	2	0	3	14	2	2	1	0	0	0	0	0	7	33
東海	7	3	12	9	8	2	5	2	2	3	0	0	0	7	60
近 畿	4	4	6	11	13	10	3	3	1	3	0	1	2	9	70
中国	8	7	8	7	6	4	7	1	0	1	0	0	0	5	54
四国	0	2	4	2	3	1	1	2	1	2	1	0	0	6	25
九 州	11	19	11	9	16	7	3	1	2	1	0	0	0	9	89
合 計	49	73	76	87	71	35	31	15	11	11	11	1	2	59	532
本年度の割合	9. 2	13. 7	14.3	16.4	13.3	6.6	5.8	2. 8	2. 1	2. 1	2. 1	0. 2	0.4	11.1	100
昨年度の割合	8. 9	13. 4	14.1	15. 7	13. 2	7. 2	4.8	2. 3	1.7	2. 3	3. 3	0.8	1. 2	11.0	100
一昨年の割合	8. 7	11. 9	17.7	16.9	13. 3	6.3	5.0	3. 1	2.7	1. 9	1.3	0.4	0.4	10.4	100

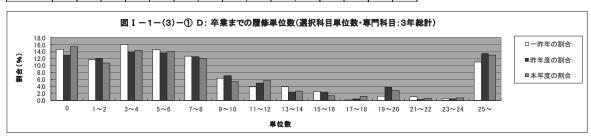


1~8単位の設定が多く、選択の幅を広げるという観点から25単位以上設けている学校も11.1%ある。一方、選択科目を設けていない学校も9.2%ある。

D:選択科目の単位数(専門科目)

表 I - 1 - (3) - ① D:卒業までの履修単位数(選択科目単位数・専門科目:3年総計)

	0	1~2	3~4	5~6	7~8	9~10	11~12	13~14	15~16	17~18	19~20	21~22	23~24	25~	合計
北海道	4	5	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	16
東北	16	15	8	10	3	2	1	2	2	1	0	1	1	8	70
関東	12	13	24	23	5	8	8	2	1	1	13	0	0	7	117
北信越	4	1	0	5	13	0	1	1	0	0	0	0	0	7	32
東海	9	3	10	8	7	2	5	6	1	1	0	0	1	7	60
近 畿	7	2	6	9	14	5	4	3	0	1	2	1	1	14	69
中 国	11	4	9	6	4	4	5	0	1	1	0	0	0	8	53
四国	1	3	4	3	4	1	3	0	0	0	0	1	0	5	25
九州	18	11	12	11	14	7	2	0	2	1	0	0	1	10	89
合 計	82	57	76	75	64	29	30	14	7	6	15	3	4	69	531
本年度の割合	15.4	10.7	14. 3	14. 1	12.1	5. 5	5. 6	2.6	1. 3	1.1	2. 8	0.6	0.8	13.0	100
昨年度の割合	13.1	12.1	13.9	13. 7	12.5	7. 0	4. 9	2. 3	2. 3	0.4	3.7	0.2	0.4	13.5	100
一昨年の割合	14.7	11.6	16.1	14. 5	12.8	6.4	3. 9	3.9	2. 5	0. 2	1. 2	1.0	0.4	11.0	100

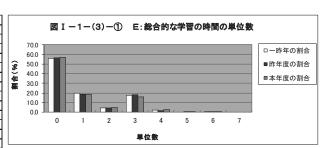


1~8単位の設定が多く、選択の幅を広げるという観点から25単位以上設けている学校も13%ある。一方、選択科目を設けていない学校も15.4%ある。

E:総合的な学習の時間の単位数

表 I - 1 - (3) -① E:総合的な学習の時間の単位数

		_							
	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
北海道	10	4	0	3	0	0	0	0	17
東北	36	15	5	8	4	3	0	0	71
関東	52	30	7	10	1	0	0	0	100
北信越	29	3	3	7	1	0	0	0	43
東海	39	3	3	14	2	0	0	0	61
近 畿	36	6	6	17	0	0	1	0	66
中国	15	26	2	10	3	0	0	0	56
四国	19	2	0	3	0	0	0	0	24
九州	67	10	0	12	2	0	0	0	91
合 計	303	99	26	84	13	3	1	0	529
本年度の割合	57.3	18. 7	4. 9	15.9	2. 5	0.6	0. 2	0.0	100
昨年度の割合	56.6	18. 6	4. 1	18.0	1.8	0.4	0.6	0.0	100
一昨年の割合	56.2	19.7	4. 2	17.7	2. 0	0.0	0.2	0.0	100

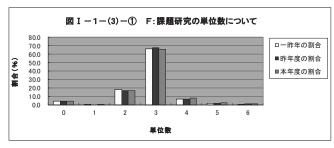


「課題研究」による全部または一部の代替により「総合的な学習の時間」を実施しない学校が57.3%ある。

F:課題研究の単位数

表 I - 1 - (3) - ① F:課題研究の単位数について

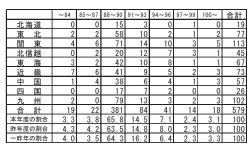
	0	1	2	3	4	5	6	合計
北海道	0	1	2	11	2	0	0	16
東北	4	0	18	51	0	1	1	75
関東	4	0	21	66	14	3	2	110
北信越	3	0	2	34	2	1	0	42
東海	3	0	11	49	2	0	0	65
近 畿	6	0	7	40	11	1	2	67
中 国	4	0	15	33	4	1	1	58
四国	1	0	2	14	4	3	1	25
九州	- 1	0	17	70	8	4	0	100
合 計	26	1	95	368	47	14	7	558
本年度の割合	4.7	0. 2	17. 0	65. 9	8. 4	2. 5	1.3	100
昨年度の割合	4.9	0.0	16. 9	67. 4	7. 4	2. 2	1.3	100
一昨年の割合	4.8	0. 2	18. 5	66. 2	7. 3	2. 0	0.9	100

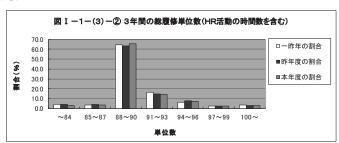


3単位の学校が65%を超えて最も多い。

② 3年間または4年間の履修総単位数について(HR活動の時間を含む)

表 I-1-(3)-② 3年間の総履修単位数(HR活動の時間数を含む)



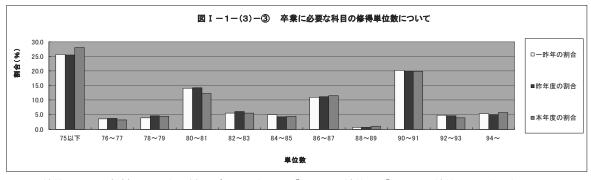


3年間または4年間の履修総単位数は88~90単位が圧倒的に多い。 また、91単位以上設定している学校も27.1% (157校) である。

③ 卒業に必要な科目の修得単位数について

表 I-1-(3)-③ 卒業に必要な科目の修得単位数について

	75以下	76~77	78~79	80~81	82~83	84~85	86~87	88~89	90~91	92~93	94~	合計
北海道	2	0	0	1	0	0	5	0	10	1	0	19
東北	33	2	2	4	7	0	11	0	15	1	2	77
関東	25	2	8	13	14	10	10	2	21	1	7	113
北信越	8	3	2	2	3	0	3	1	11	5	7	45
東海	23	4	1	17	2	3	7	0	5	3	2	67
近 畿	24	3	4	7	2	5	11	1	8	2	6	73
中 国	15	3	3	7	1	1	8	2	13	2	2	57
四国	11	0	3	2	1	5	0	0	2	0	2	26
九州	21	1	3	18	2	2	12	0	30	8	5	102
合 計	162	18	26	71	32	26	67	6	115	23	33	579
本年度の割る	≥ 28.0	3. 1	4.5	12. 3	5. 5	4. 5	11.6	1.0	19.9	4. 0	5.7	100
昨年度の割る	≥ 25.6	3. 7	4.7	14. 2	6. 1	4. 2	11.2	0.7	19.8	4. 7	5.1	100
一昨年の割食	≥ 25. 7	3.5	3.8	14. 0	5. 6	5. 1	11.0	0.7	20. 3	4. 9	5.4	100



75単位以下の学校が28%で最も多い。続いて「90~91単位」、「80~81単位」の順となっている。

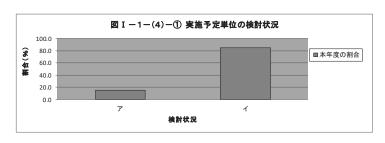
(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について

① 実施予定単位の検討状況について

実施予定単位の検討状況を教えてください。 ア 決定済 イ 検討中

表 I - 1 - (4) - ① 実施予定単位の検討状況

	ア	1	合計
北海道	1	16	17
東北	14	57	71
関東	18	92	110
北信越	5	38	43
東海	3	61	64
近 畿	10	55	65
中国	8	47	55
四国	7	17	24
九州	18	77	95
合 計	84	460	544
本年度の割合	15.4	84. 6	100
昨年度の割合			
一昨年の割合			



実施予定単位の検討中の学校が84.6%である。

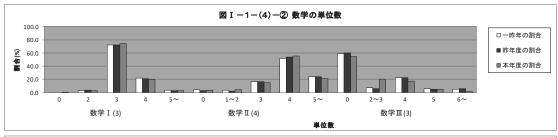
② 数学の予定または決定の単位数をお答えください。

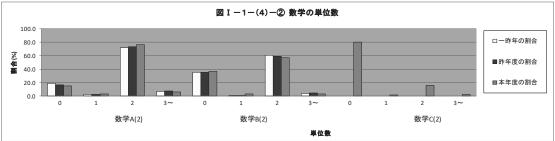
数学 I	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学活用
(A) 単位	(B) 単位	(C) 単位	(D) 単位	(E) 単位	(F) 単位

表 I - 1 - (4) -② 数学の単位数(各科目のかっこ内は標準単位数を示す)

		数章	学 I (3	3)			数	学Ⅱ(4	1)			数	学皿(3	3)	
	0	2	3	4	5~	0	1~2	3	4	5 ~	0	2~3	4	5	6~
北海道	0	0	12	5	0	0	0	1	11	4	7	0	0	0	1
東北	1	4	44	21	1	4	4	9	36	15	27	3	4	1	1
関東	1	5	61	17	4	5	4	19	47	11	31	12	14	4	1
北信越	0	1	32	7	0	0	0	7	23	9	8	7	9	1	1
東海	0	3	46	8	1	1	4	9	35	7	15	11	5	2	1
近 畿	0	0	51	8	1	3	5	5	37	4	15	10	14	2	1
中国	0	0	41	9	1	1	2	7	27	12	18	4	4	1	1
四国	0	0	21	4	0	0	0	3	15	5	7	7	0	0	0
九 州	0	2	66	19	7	4	3	12	31	33	34	6	1	4	0
合 計	2	15	374	98	15	18	22	72	262	100	162	60	51	15	7
本年度の割合	0.4	3.0	74. 2	19.4	3.0	3.8	4.6	15. 2	55.3	21.1	54.9	20.3	17. 3	5.1	2.4
昨年度の割合	0.0	3. 7	71.8	21.5	3.0	3. 2	2.4	16.4	53.7	24.3	59.8	5. 9	23.0	5.3	5.9
一昨年の割合	0.0	2. 6	72.4	21.5	3.5	4. 1	3.3	16.6	51.9	24.0	59.3	7. 5	22. 4	5.9	4.9

		数学A	(2)			数学B	(2)			数学C	(2)	
	0	1	2	3~	0	1	2	3~	0	1	2	3~
北海道	7	0	6	2	3	0	6	1	7	0	1	0
東北	9	0	42	7	24	1	21	1	32	0	1	1
関東	14	2	57	2	27	2	39	2	39	0	14	3
北信越	1	4	29	1	4	0	28	0	20	0	4	0
東海	8	1	29	1	12	1	24	2	18	1	7	2
近畿	4	1	39	4	9	1	33	3	30	1	9	0
田中	7	3	22	2	16	4	11	1	23	2	3	0
四国	0	0	19	0	5	1	8	0	10	0	3	0
九州	11	0	60	4	24	0	24	1	40	0	1	1
合 計	61	11	303	23	124	10	194	11	219	4	43	7
本年度の割る	15.3	2. 8	76. 1	5.8	36.6	2. 9	57. 2	3. 2	80. 2	1.5	15.8	2. 6
昨年度の割る	16.8	2. 5	73.4	7.4	35.3	1.0	58.8	4. 9				
一昨年の割る	18.7	2. 4	71.9	7.0	35. 2	0.8	60.3	3.8				





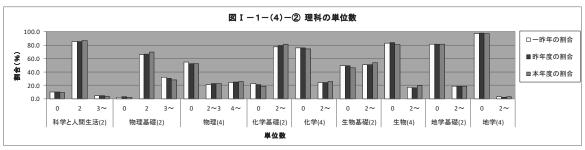
「数学A」「数学B」はどちらも2単位履修する学校の割合が最も多い。「数学C」の履修は少ない。

③ 理科の予定または決定の単位数をお答えください。

科学と 人間生活	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学
(A) 単位	(B) 単位	(C)単位	(D) 単位	(E)単位	(F)単位	(G) 単位	(H)単位	(I)単位

表 I-1-(4)-2 理科の単位数(各科目のかっこ内は標準単位数を示す)

						. 1			_		1				1				1		
	科学と	人間生	活(2)	物	理基礎(2	2)		物理(4)		化学基		化学		生物基	礎(2)	生物		地学基		地学	: (4)
	0	2	3∼	0	2	3∼	0	2~3	4~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	0	2~	. 0	2~
北海道	3	10	1	0	12	5	6	0	2	0	13	6	1	4	7	6	1	5	1	6	. (
東北	9	50	3	2	46	17	25	4	6	8	48	29	6	17	27	28	5	28	6	32	. (
関東	13	64	7	5	58	32	28	10	20	6	78	32	17	24	34	36	10	34	13	41	- 2
北信越	2	36	0	0	24	15	10	12	7	5	27	15	9	12	14	16	6	15	7	19	2
東海	2	48	1	1	43	10	11	13	11	7	39	17	12	18	20	19	9	23	3	25	
近 畿	8	43	3	1	49	8	15	10	15	11	36	28	8	13	34	27	8	27	11	31	2
中国	2	46	1	1	33	15	18	2	7	8	27	21	3	17	11	21	3	24	0	24	
四国	0	24	1	1	15	8	9	4	1	6	13	10	2	7	6	10	1	9	3	11	(
九州	4	86	2	1	59	25	30	10	6	21	37	35	8	31	15	37	6	38	3	38	. 1
合 計	43	407	19	12	339	135	152	65	75	72	318	193	66	143	168	200	49	203	47	227	8
本年度の割合	9. 2	86.8	4. 1	2. 5	69.8	27. 8	52. 1	22. 3	25. 7	18.5	81.5	74.5	25.5	46.0	54.0	80.3	19.7	81. 2	18.8	96.6	3. 4
昨年度の割合	10.0	85.3	4. 7	2. 9	66.4	30. 7	52. 4	22. 9	24. 6	21.4	78.6	75. 9	24.1	49.5	50.5	83. 3	16.7	81. 2	18.8	97. 5	2. 5
一昨年の割合	10.4	85.0	4. 5	2. 6	65. 6	31.8	54. 4	21. 2	24. 5	22. 6	77.4	76. 2	23.8	49.5	50.5	83. 2	16.8	81.6	18. 4	97. 3	2.



「科学と人間生活」の2単位の学校が最も多い。

(5) 進学希望者の指導について

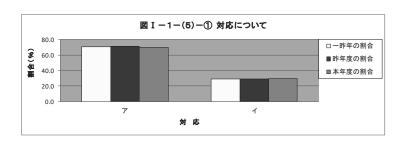
① 教育課程上の対応について

進学希望者の指導について教育課程上の対応をしていますか。

ア はい イ いいえ

表 I-1-(5)-① 対応について

	ア	1	合計
北海道	10	9	19
東北	49	28	77
関東	78	35	113
北信越	38	7	45
東海	47	20	67
近 畿	57	15	72
中国	40	17	57
四国	24	2	26
九 州	63	40	103
合 計	406	173	579
本年度の割合	70.1	29. 9	100
昨年度の割合	71.2	28. 8	100
一昨年の割合	70.9	29. 1	100



例年同様、70%を超える学校で進学希望者には教育課程上の対応をしている。

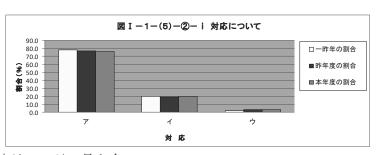
② ①でアと回答した学校について

i どのような対応をしていますか。(複数回答可)

ア 選択教科 イ コース又は類型で指導 ウ その他

表 I - 1 - (5) - ②- i 対応について

	ア	1	ウ	合計
北海道	9	2	2	13
東北	42	7	2	51
関東	71	11	4	86
北信越	33	8	1	42
東海	33	18	2	53
近 畿	47	16	2	65
中国	32	9	2	43
四国	18	11	0	29
九州	58	8	1	67
合 計	343	90	16	449
本年度の割合	76.4	20.0	3.6	100
昨年度の割合	77. 0	19.5	3.5	100
一昨年の割合	78. 0	19.8	2. 2	100



「選択教科」で対応している学校が76.4%で最も多い。

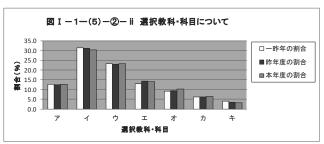
i でアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可)

ア 国語 イ 数学 ウ 英語 工 物理 才 化学

カ 地歴・公民 キ その他

表 I - 1 - (5) - ② - ii 選択教科・科目について

表1-1-(5)-②- 選択教科・科目について												
	ア	1	ウ	I	オ	カ	+	合計				
北海道	1	8	4	2	3	2	1	21				
東北	10	40	27	17	9	6	6	115				
関東	27	71	50	37	31	21	6	243				
北信越	16	33	24	17	13	5	3	111				
東海	9	29	31	18	15	7	1	110				
近 畿	25	48	37	26	15	12	6	169				
中国	17	32	27	13	9	8	6	112				
四国	10	18	17	7	5	3	3	63				
九州	25	57	41	17	13	7	2	162				
合 計	140	336	258	154	113	71	34	1106				
本年度の割合	12. 7	30.4	23. 3	13.9	10. 2	6. 4	3. 1	100				
昨年度の割合	12. 5	31. 2	23. 0	14. 2	9. 5	6. 2	3.5	100				
一昨年の割合	12.8	31.4	23. 3	13.0	9. 3	6. 3	4.0	100				



「数学」が最も多く、続いて「英語」「物理」「国語」の順になっている。

iii i でアと回答した場合の進学を考慮した3年間での選択教科・科目の単位数

ア 4単位以下

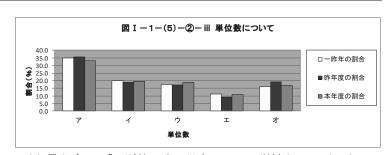
イ 6単位以下 ウ 8単位以下

エ 10単位以下

才 11単位以上

表 I - 1 - (5) - ② - iii 単位数について

	ア	1	ウ	Н	オ	合計
北海道	8	1	0	0	0	9
東北	18	14	6	2	4	44
関東	26	22	6	7	9	70
北信越	9	3	14	4	4	34
東海	9	6	9	3	9	36
近 畿	12	7	10	7	12	48
中国	12	3	4	8	7	34
四国	4	1	3	2	9	19
九州	20	13	15	6	6	60
合 計	118	70	67	39	60	354
本年度の割合	33.3	19.8	18.9	11.0	16.9	100
昨年度の割合	35.5	19.0	17.0	9. 2	19.3	100
一昨年の割合	34.9	19.9	17.6	11.4	16. 2	100

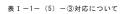


「4単位以下」が増加傾向にあり33.3%と最も多い。「11単位以上」設定している学校も16.9%である。

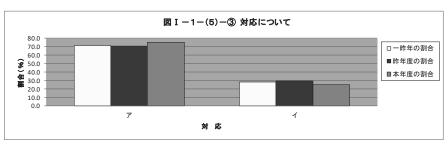
③ 教育課程以外の対応について

教育課程以外で何か対応していますか。

アはい イ いいえ



	ア	1	合計
北海道	16	3	19
東北	63	13	76
関東	71	41	112
北信越	41	4	45
東海	41	25	66
近 畿	53	18	71
中国	38	18	56
四国	24	2	26
九州	83	19	102
合 計	430	143	573
本年度の割合	75.0	25.0	100
昨年度の割合	70.6	29.4	100
一昨年の割合	71 8	28 2	100



教育課程以外で対応している学校が75%である。

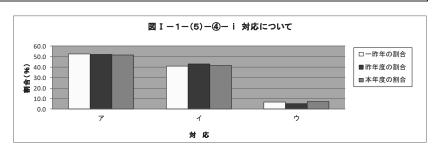
④ ③でアと回答した学校について

i どの時期に対応をしていますか。(複数回答可)

ア 早朝もしくは放課後の課外授業で対応 イ 長期休業中 ウその他

表 I -1- (5) -④- i 対応について

	ア	7	ゥ	合計
北海道	13	11	0	24
東北	50	45	5	100
関東	47	45	12	104
北信越	31	26	5	62
東海	31	26	6	63
近 畿	37	35	3	75
中国	26	15	7	48
四国	20	16	0	36
九 州	73	44	7	124
合 計	328	263	45	636
本年度の割合	51.6	41.4	7. 1	100
昨年度の割合	52. 0	42.6	5. 4	100
一昨年の割合	52. 4	41.1	6. 5	100



「早朝もしくは放課後の課外授業で対応」している学校が51.6%であるが、複数回答してい る学校も多い。

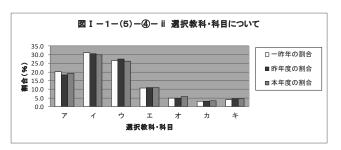
ii i でアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可)

ア 国語 イ 数学 ウ 英語 工 物理 オー化学

カ 地歴・公民 キ その他

表 I - 1 - (5) - 4 - ii 選択教科・科目について

表1-1-(5)-4-1 選択教科・科目にういて											
	ア	1	ウ	I	オ	カ	+	合計			
北海道	8	12	10	5	2	2	2	41			
東北	42	54	51	19	9	5	6	186			
関東	36	53	46	18	12	9	5	179			
北信越	23	37	32	14	10	2	7	125			
東海	19	37	32	15	8	4	7	122			
近 畿	27	44	37	13	8	4	6	139			
中国	18	31	26	10	4	3	7	99			
四国	15	18	18	8	6	1	5	71			
九 州	43	73	62	30	11	9	10	238			
合 計	231	359	314	132	70	39	55	1200			
本年度の割合	19.3	29.9	26. 2	11.0	5. 8	3. 3	4. 6	100			
昨年度の割合	18.5	30.7	27.5	10. 9	4. 9	3. 0	4. 5	100			
一昨年の割合	20.1	31.0	26.5	10.7	4. 8	3. 1	3. 9	100			



対応している教科・科目は「数学」が最も多く、続いて「英語」「国語」の順である。

(6) 大学入試、外部検定試験について

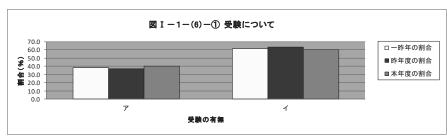
① 大学入試について

大学入試センター試験を受験していますか。

ア はい イ いいえ

表 I - 1 - (6) - ① 受験について





センター試験を受験している学校は39.9%であり、やや増加した。

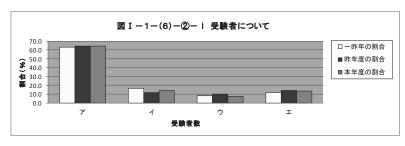
② ①でアと回答した学校について

i 昨年度の受験者は何名ですか。(過年度卒も含む)

ア 5名以内 イ 6名から10名 ウ 11名以上 エ 21名以上

表 I - 1 - (6) - ② - i 受験者について





「5名以内」の学校が最も多い。21名以上受験している学校も13.5%ある。

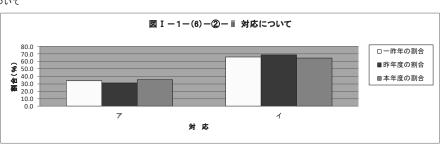
ii どのような対応をしていますか。

ア 教育課程上で対応

イ 教育課程以外で対応

表 I - 1 - (6) - ② - ii 対応について

	ア	1	合計
北海道	2	2	4
東北	9	24	33
関東	20	34	54
北信越	10	19	29
東海	11	26	37
近 畿	10	16	26
中国	3	10	13
四国	8	6	14
九 州	12	16	28
合 計	85	153	238
本年度の割合	35.7	64.3	100
昨年度の割合	31.5	68.5	100
一昨年の割合	34. 2	65.8	100



教育課程以外で対応している学校が64.3%である。

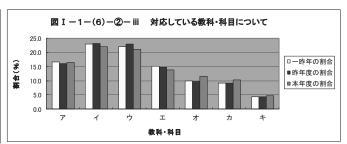
iii 対応している場合の教科・科目名(複数回答可)

ア国語 イ数学 ウ英語 エ物理 オ化学

カ 地歴・公民 キ その他

表 I-1-(6)-②-iii 対応している教科・科目について

	ア	1	ウ	エ	オ	カ	キ	合計
北海道	2	4	2	2	2	2	0	14
東北	20	30	25	18	12	11	3	119
関東	32	42	42	27	26	19	9	197
北信越	19	27	24	18	16	14	5	123
東海	21	26	27	15	11	12	5	117
近 畿	16	21	23	15	13	11	8	107
中国	9	11	11	5	6	6	5	53
四国	11	11	12	9	6	7	3	59
九州	15	21	19	13	9	9	3	89
合 計	145	193	185	122	101	91	41	878
本年度の割合	16.5	22.0	21. 1	13.9	11.5	10.4	4. 7	100
昨年度の割合	16.0	23.1	23.0	14.8	9.7	9.3	4. 3	100
一昨年の割合	16.5	23.0	22. 0	15.1	9.9	9. 2	4. 3	100



「数学」「英語」が多く、続いて「国語」「物理」の順である。

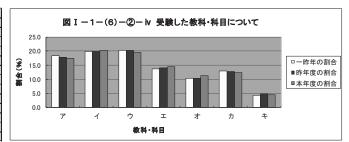
iv 実際に受験した教科・科目名(複数回答可)

ア国語 イ 数学 ウ 英語 エ 物理 オ 化学

カ 地歴・公民 キ その他

表 I - 1 - (6) - ② - iv 受験した教科・科目について

	ア	1	ウ	I	オ	カ	+	合計
北海道	3	4	3	3	2	3	1	19
東北	22	26	23	23	16	18	3	131
関東	35	45	44	29	23	23	9	208
北信越	21	27	24	18	17	17	7	131
東海	28	28	29	19	16	18	7	145
近 畿	20	22	24	15	15	16	7	119
中国	9	12	12	8	6	5	3	55
四国	11	10	12	9	5	10	4	61
九州	21	24	20	17	10	11	4	107
合 計	170	198	191	141	110	121	45	976
本年度の割合	17. 4	20.3	19.6	14. 4	11.3	12.4	4.6	100
昨年度の割合	17. 9	19.8	20.3	14. 1	10.3	12.7	4.9	100
一昨年の割合	18.3	19.8	20.3	13.8	10.4	13.0	4.4	100



受験対応科目と同じく、「数学」「英語」が多く、続いて「国語」「物理」の順である。

(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて

① ICT機器の活用について

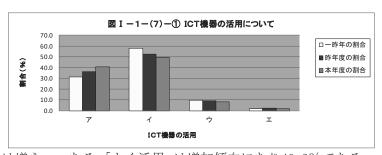
工業専門科目の座学で、ICT機器の活用についてお答えください。

ア よく活用している イ 少し活用している ウ あまり活用していない

エ 全く活用していない

表 I - 1 - (7) - ① I C T 機器の活用について

	ア	1	ゥ	ı	合計
北海道	7	12	0	0	19
東北	30	43	3	1	77
関東	56	50	7	0	113
北信越	14	29	2	0	45
東海	22	39	6	0	67
近 畿	25	33	13	1	72
中国	22	27	7	1	57
四国	10	15	1	0	26
九州	49	39	9	6	103
合 計	235	287	48	9	579
本年度の割合	40.6	49.6	8. 3	1.6	100
昨年度の割合	36.1	52. 4	9. 1	2.4	100
一昨年の割合	31.2	57.8	9.4	1.6	100



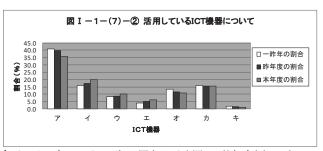
座学におけるICT機器の活用は増えつつある。「よく活用」は増加傾向にあり40.6%である。

② ①でア、イと回答した学校について

活用している I C T 機器についてお答えください。活用方法ではありません。(複数回答可) ア プロジェクタ イ タブレット ウ 電子黒板 エ スマートフォンオ デジタルカメラ (ビデオ) カ 書画カメラ (実物投影機) キ その他

表 I - 1 - (7) - ② 活用している I C T 機器について

	ア	1	ウ	エ	オ	カ	+	合計
北海道	19	1	2	7	7	4	1	41
東北	72	41	8	19	32	19	3	194
関東	106	51	22	25	34	46	5	289
北信越	39	25	19	5	13	19	2	122
東海	60	42	14	11	15	33	1	176
近 畿	59	29	15	6	19	23	2	153
中国	47	30	8	3	3	30	1	122
四国	24	18	10	6	13	7	1	79
九 州	84	49	46	7	19	40	2	247
合 計	510	286	144	89	155	221	18	1423
本年度の割合	35.8	20.1	10.1	6. 3	10.9	15.5	1. 3	100
昨年度の割合	40.0	17.3	8. 9	5. 0	11.7	15.6	1.6	100
一昨年の割合	40.7	15.8	8. 2	4. 0	13.4	16.1	1. 7	100



・課題研究によるスマート農業

人型ロボットによるプログラミング

プロジェクタを使用している学校が最も多く、タブレット、電子黒板の活用は増加傾向にある。

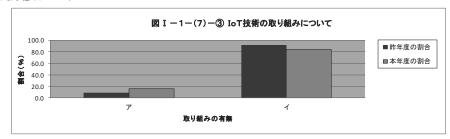
③ IoT技術について

LoT技術についての取り組みはありますか。

ア はい イ いいえ

表 I - 1 - (7) - ③ IoT技術の取り組みについて





取り組み校がやや増加しているが、検討中の学校が多いと思われる。

④ ③でアと回答した学校について

具体的な取り組みをお答えください。(主なものを記載)

- ・Raspberry Piを用いたロボットによるセンサ技術の活用 ・Raspberry Piを使った物作り(課題研究)
- ・農作物育成における土壌管理システム
- ・IoT百葉箱の開発と商品化(商標登録)への取組
- ・obnizを利用し、スマートフォンでモータを制御する研究 ・ドローンによる測量、3D図面等
- ・3年課題研究で「AVRマイコンによるIoTの研究」を実施 ・Arudinoによるプログラミング
- ・工場にある工作機械に電源が投入されたらコンピューター上で確認できるシステム
- ・害獣(イノシシ)を捕らえたら動画をメールに配信するシステム
- ・センサ情報の取得やカメラの操作などを組込用マイコンを使って遠隔で実現する研究
- ・スマートハウス(IoTを活用した電気機器コントロール、WEBカメラ監視)
- ・スマートホンとRaspberry Piをつなぎ、遠隔操作による野菜栽培ハウスへの「潅水制御」
- ・ゲリラ豪雨等を予測するため、地域の気象観測データを自動集計する小型気象観測装置の開発
- ・最新測量技術研修会、ICTを用いた建設への見学会、体験会、OBによる出前講座で最新技術を研修
- ・IoT技術で必要となる無線データ送信温度センサの製作の研究
- ・「課題研究」で取り組んでいる鉄道模型、カート、ロボット等の遠隔操作

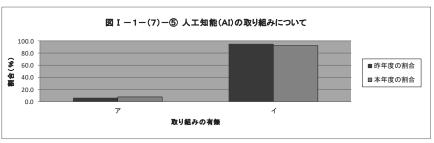
⑤ 人口知能(AI)について

人工知能(AI)についての取り組みはありますか。

ア はい イ いいえ

表 I - 1 - (7) - ⑤ 人工知能 (A I) の取り組みについて

	ア	1	合計
北海道	2	16	18
東北	6	70	76
関東	8	103	111
北信越	6	39	45
東海	5	60	65
近 畿	8	60	68
中国	2	54	56
四国	2	24	26
九 州	5	96	101
合 計	44	522	566
本年度の割合	7.8	92. 2	100
昨年度の割合	5.7	94.3	100
一昨年の割合			



取り組み校がやや増加しているが、検討中の学校が多いと思われる。

⑥ ⑤でアと回答した学校について

具体的な取り組みをお答えください。(主なものを記載)

- ・Pythonを用いたAIの基礎学習
- ・chatbotを利用した研究
- ・AIによるCPS(Cyber-Physical System)」の学習 ・AIによる顔認証システムの研究
- ・AIによる画像認識で将棋の棋譜を解析する研究 ・雨量による川の水位予測
- ・Raspberry Piを利用したAIスピーカーの製作 ・Raspberry Piによる音声認識・会話システムの製作
- ・WATSONなどのAPI活用方法の課題研究
- ・Pythonを使ったAIプログラムの作成
- チェスゲームの作成

- ・ニューラルネットワークを使った実習
- ・TetsonによるAI体験からスタートさせ、発展させていく計画
- ・ロボットアームにカメラを接続して、製品を画像処理・認識させて移動させる実習

(8) 遠隔システムについて

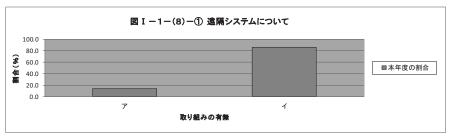
① 遠隔システムの利用について

遠隔システムを利用した授業を行っていますか。

ア はい イ いいえ

表I-1-(8)-① 遠隔システムを利用した授業について





新しく追加した項目であるが、14.4%の学校が取り組んでいる。

② ①でアと回答した学校について

具体的な状況をお答えください。(主なものを記載)

- ・臨時休業中のオンライン学習
- ・臨時休業中の課題配布及び提出等
- ・クラウド上に授業の動画を配信
- 校内におけるオンライン集会
- ・課題研究における打合せやデータ共有・他校との交流授業

新型コロナウィルス感染症対策による臨時休業に伴い、Web 会議サービスや動画配信サービ ス等を活用した学校があったことが伺える。サービス(システム)の具体的な名称で回答され たもので多かったのが「ZOOM」と「Google Classroom」で、他に Microsoft Teams、Youtube、 Classi 等の回答があった。

2 教育課程の実施についてのまとめ

(1) 編成上の基本的な考え方について

毎年の傾向に大きな変化はなく、「専門的な技術・技能教育の定着」が42.7%、次に「基礎的な学力の定着」が40.6%と続く。「キャリア教育の推進」が若干の伸びを見せた。

(2) 取り組む内容について

取り組む内容については、「基礎的・基本的な知識及び技術の確実な習得と活用」が37.3%で最も多く、続いて「学習習慣の確立」、「職業教育」の順となり、職業教育が増加している。

(3) 卒業までの履修単位について

卒業までの履修単位について 全員履修の普通科目の単位数は、45~50単位が多い。全員履修の専門科目の単位数は、36単位が最も多く、24単位以下も増加しており、単位数のばらつきが大きい。普通科目の選択単位数は、1~8単位が多い。また、進学対応のため25単位以上も一定数ある。専門科目及び普通科目の選択単位数は同様の傾向である。「課題研究」は3単位の学校が最も多く、「総合的な学習の時間」は多くの学校が一部または全部を「課題研究」で代替していると考えられ、「総合的な学習の時間」の履修は多くない。卒業までの履修総単位数は88~90単位が圧倒的に多い。また、それ以上設定している学校は27.1%である。卒業に必要な修得単位数は、75単位以下の学校が最も多く増加している。次に、90~91単位が多く、傾向は例年通りである。

(4) 新学習指導要領における数学と理科の履修単位数について 新学習指導要領を踏まえた予定単位数については、検討中の学校が大半である。

(5) 進学希望者の指導について

進学希望者の指導について 教育課程上で対応している学校が70.1%で、そのほとんどは選択教科で対応している。教科・科目では「数学」が最も多く、次に「英語」である。教育課程以外の対応では、平日の課外授業が51.6%、長期休業中が41.4%であり、対応時期合計は、対応校数の約1.5倍であるので複数の時期で対応していることが伺える。

(6) 大学入試・外部検定試験について

大学入試センター試験を受験する学校は39.9%で、そのうち受験者数は「5名以内」が64.2% と最も多く、21名以上受験している学校は13.5%である。また、「教育課程上で対応」が35.7%とやや増えたが、多くの学校は教育課程以外で対応している。また、対応している教科・科目は実際の受験科目と同様の傾向であり「数学」「英語」が並んで多い。

(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて

使用機器については、プロジェクタが最も多い。タブレット、電子黒板などのディジタル機器の活用がやや増えてきているが、ICT機器の活用は十分とは言えない。また、IoT技術、AI技術についての取り組みも微増しているが、もっと進めていくことが求められる。新学習指導要領の実施に向けて授業の在り方等、研究授業や研修を通して取り組みを図る必要がある。

(8) 遠隔システムについて

授業での利用については、大半の学校が利用していないが、新型コロナウィルス感染症対策による臨時休業に伴い、Web会議サービスや動画配信サービス等を活用した学校が多数あったことが伺える。サービス(システム)の具体的な名称で回答されたもので多かったのが「ZOOM」と「Google Classroom」で、他にMicrosoft Teams、Youtube、Classi等の回答があった。

Ⅱ 学校改革について

○ 調査目的

基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、生徒一人ひとりの個性に応じ、そ の能力を最大限に伸ばす創意工夫に富んだ教育活動を行うことが重要である。そこで、本年度 も学校改革・活性化、職員の意識改革、長期休業期間の活用法などについて調査した。

1. 学校改革・活性化について

(1) 学校改革・学校活性化について

学校改革・学校活性化で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

イ 学科の新設や改編 ウ 入学者選抜の見直し ア 学校の統合

エ 特色ある教育課程の編成

才 学校評価

カ 職員の意識改革

キ ものづくり ク 挨拶・服装・マナー指導

ケ 進学指導

コ 就職指導

サ 資格指導

シ 部活動

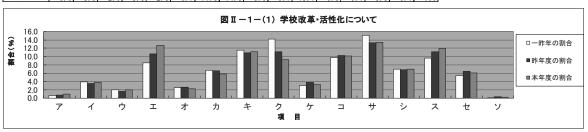
ス 地域との連携

セ 企業や他の教育機関との連携

ソ その他

表Ⅱ-1-(1) 学校改革・活性化について

	ア	1	ウ	I	オ	カ	+	ク	ケ	П	サ	シ	ス	セ	ソ	合計
北海道	2	4	0	8	1	2	6	5	3	6	6	2	6	4	0	55
東北	6	9	2	24	7	8	23	17	7	23	32	15	29	18	0	220
関東	2	7	11	47	9	17	34	31	9	32	43	16	27	22	1	308
北信越	2	5	0	17	2	11	12	8	6	5	16	7	20	16	0	127
東海	0	22	9	26	5	9	20	18	4	15	16	15	20	12	1	192
近 畿	2	7	2	38	6	13	18	18	8	20	29	11	25	7	0	204
中国	0	2	3	15	2	16	18	19	4	17	24	11	24	8	0	163
四国	1	1	1	6	2	2	11	6	1	4	9	9	14	3	1	71
九州	1	5	5	28	4	18	41	31	11	45	46	28	31	9	0	303
合 計	16	62	33	209	38	96	183	153	53	167	221	114	196	99	3	1643
本年度の割合	1.0	3.8	2. 0	12.7	2. 3	5. 8	11. 1	9.3	3. 2	10.2	13.5	6.9	11.9	6. 0	0. 2	100
昨年度の割合	0.7	3.6	1.6	10.6	2. 6	6. 6	10.9	11. 2	3.8	10.3	13.3	6.8	11.1	6. 5	0.4	100
一昨年の割合	0.6	3. 9	2. 0	8. 5	2. 5	6. 7	11. 5	14. 3	3. 0	9. 7	15.1	6.9	9.7	5. 5	0. 1	100



今回「挨拶・服装・マナー指導」の割合が減少し、「地域との連携」「特色ある教育課程の編成」 が増加傾向にある。

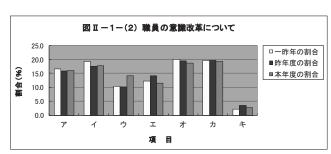
(2)職員の意識改革について

職員の意識改革で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)

- ア 企業の人を招いての研修会・懇談会
- イ 企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣
- ウ 職員グループによる学校の課題の研究 エ 教員評価システムの活用
- オ 保護者、地域への授業公開 カ 管理職による職員への積極的な情報の提示
- キ その他

表 II - 1 - (2) 職員の意識改革について

	ア	1	ウ	I	オ	カ	+	合計
北海道	10	8	5	3	4	11	0	41
東北	35	33	16	22	29	31	5	171
関東	28	34	39	28	60	47	5	241
北信越	17	21	14	8	16	13	4	93
東海	18	23	21	18	24	25	2	131
近 畿	24	22	24	10	25	30	4	139
中国	18	21	21	8	23	22	5	118
四国	9	10	2	6	10	6	2	45
九州	30	38	26	32	31	43	6	206
合 計	189	210	168	135	222	228	33	1185
本年度の割合	15. 9	17.7	14. 2	11.4	18. 7	19.2	2.8	100
昨年度の割合	15. 7	17.5	10.1	14.1	19.4	19.5	3.5	100
一昨年の割合	16.5	19.2	10.2	12.3	20.0	19.6	2. 1	100



延べ回答数が回答校の2倍近くあり、どの学校も職員の意識改革に力を入れている。

(3)長期休業期間について

① 長期休業中の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数について

長期休業中の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数についてお答えください。

ア 設定していない イ 3日以内

ウ 5 目以内

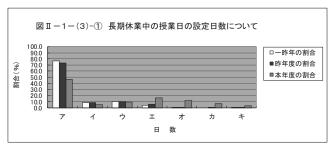
エ 10日以内

才 15日以内 カ 20日以内

キ 20日を超える

表Ⅱ-1-(3)-① 長期休業中の授業日の設定日数について

	ア	1	ウ	エ	オ	カ	+	合計
北海道	12	0	3	2	1	0	0	18
東北	51	8	10	7	1	0	0	77
関東	53	3	7	18	13	7	5	106
北信越	20	2	3	9	9	1	0	44
東海	29	2	2	10	10	13	1	67
近 畿	28	4	10	13	3	7	5	70
中国	19	4	8	8	7	5	6	57
四国	12	0	2	3	8	1	0	26
九 州	38	4	8	22	15	6	4	97
合 計	262	27	53	92	67	40	21	562
本年度の割合	46. 6	4. 8	9.4	16.4	11.9	7. 1	3.7	100
昨年度の割合	73.7	8. 6	10.3	5.7	0.6	0.6	0.6	100
一昨年の割合	76. 4	8. 3	10.5	4. 0	0.6	0.0	0. 2	100



「設定していない」が46.6%で最も多いが、昨年度に比べ3割近く減少している。 また、10日以上が増加している。

② 授業の内容

授業の内容についてお答えください。

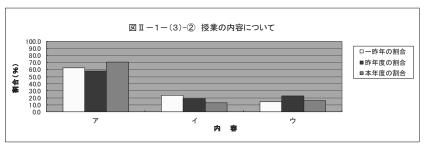
ア 通常日課の授業

イ 資格取得のための特別授業

ウ その他

表 II - 1 - (3) -② 授業の内容について





「通常日課の授業」が増加した。

2. 学校改革・活性化についてのまとめ

(1) 学校改革・学校活性化について

特に力を入れていることについて重要視されているのは、「資格指導」「特色ある教育課程の編成」「地域との連携」「ものづくり」「就職指導」の順であり、その中でも「特色ある教育課程の編成」「地域との連携」については増加傾向にある。

(2) 職員の意識改革について

職員の意識改革で特に力を入れているものは、「保護者、地域への授業公開」「管理職による職員への積極的な情報の提示」「企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣」が多い。「職員グループによる学校の課題の研究」は昨年に比べて増加している。

(3) 長期休業期間について

長期休業中の短縮による授業は、「設定していない」が46.6%であり、昨年に比べ3割近く減少している。また、10日以上が増加し、実施内容は「通常日課の授業」が71.1%と増加していることから、新型コロナウィルス感染症対策のための臨時休校の影響と考えられる。

Ⅲ 産学連携・地域連携について

○ 調査目的

望ましい勤労観、職業観の育成や社会への奉仕精神の涵養とともに、開かれた学校づくりを推進するために、各学校では様々な取り組みを行っている。一方、近年の若者を中心としたものづくり離れ、熟練技能者の高齢化などは、我が国の経済発展を担うものづくり基盤技術の継承を困難なものにしつつある。

そこで、地域や産業界とのパートナーシップの確立や、ものづくりに関する学校教育の充実 に資するよう、学校と地域との連携状況、産学の連携状況を調査した。

1. インターンシップについて

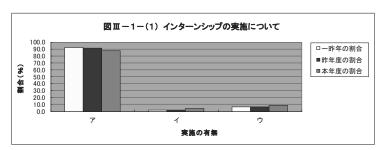
(1) インターンシップの実施について

インターンシップの実施についてお答えください。

ア 実施している イ 検討中 ウ 実施していない

表Ⅲ-1-(1)インターンシップの実施について

	ア	1	ウ	合計
北海道	18	0	1	19
東北	69	3	4	76
関東	96	6	12	114
北信越	43	0	1	44
東海	55	6	6	67
近 畿	56	3	12	71
中国	50	3	4	57
四国	24	0	1	25
九 州	92	3	8	103
合 計	503	24	49	576
本年度の割合	87.3	4. 2	8. 5	100
昨年度の割合	91.4	2. 1	6.5	100
一昨年の割合	91.6	1.7	6.6	100



「実施している」が87.3%で、「検討中」「実施なし」は少ない。

(2) 実施している学校の実施内容について

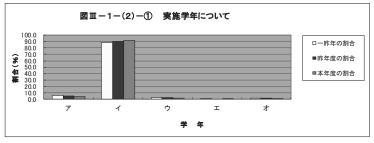
① 実施学年について

実施学年についてお答えください。

ア 1年 イ 2年 ウ 3年 エ 4年 オ その他

表Ⅲ-1-(2)-① 実施学年について

	ア	イ	ウ	エ	オ	合計
北海道	1	16	1	0	0	18
東北	0	68	1	0	1	70
関東	6	89	1	0	0	96
北信越	2	41	0	0	1	44
東海	2	53	0	0	1	56
近 畿	4	49	2	1	2	58
中 国	7	39	4	0	1	51
四国	0	24	0	0	1	25
九州	1	90	2	0	0	93
合 計	23	469	11	1	7	511
本年度の割合	4.5	91.8	2. 2	0. 2	1.4	100
昨年度の割合	5.1	89.9	2. 8	0.0	2. 1	100
一昨年の割合	6.0	88. 5	2. 8	0.4	2. 3	100



「2年生」の実施が91.8%で最も多い。

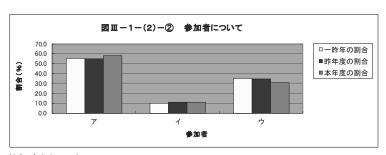
② 参加者について

参加者についてお答えください。

ア 学年全員 イ 科の生徒全員 ウ 一部の生徒

表皿-1-(2)-② 参加者について

	ア	1	ウ	合計
北海道	16	1	1	18
東北	48	10	10	68
関東	49	6	39	94
北信越	26	8	10	44
東海	21	5	31	57
近 畿	20	7	31	58
中国	27	6	18	51
四国	17	2	5	24
九 州	69	11	11	91
合 計	293	56	156	505
本年度の割合	58. 0	11.1	30.9	100
昨年度の割合	54.6	11. 2	34. 2	100
一昨年の割合	55. 2	10.0	34.9	100



「学年全員」での実施が58%で増加傾向にある。

③ 実施時期について

実施時期についてお答えください。

ア 長期休業中 イ 授業日()月

表Ⅲ-1-(2)-③ 実施時期について

	ア	1	合計
北海道	2	14	16
東北	10	54	64
関東	41	54	95
北信越	20	23	43
東海	34	23	57
近 畿	30	27	57
中国	29	20	49
四国	5	18	23
九 州	22	62	84
合 計	193	295	488
本年度の割合	39.5	60.5	100
昨年度の割合	42. 7	57.3	100
一昨年の割合	41.4	58.6	100

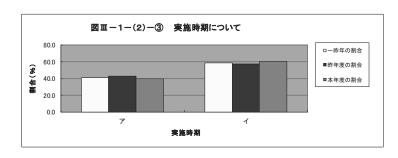
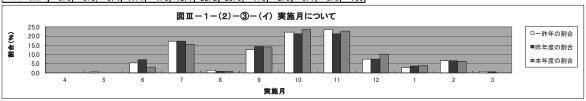


表 III - 1 - (2) - ③ - (1) 実施時期()月

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
北海道	0	0	2	1	0	10	2	1	0	0	0	0	16
東北	0	0	5	14	2	15	15	6	1	0	1	0	59
関東	0	0	1	7	0	4	10	15	6	2	10	0	55
北信越	0	0	2	7	0	0	6	6	3	0	0	0	24
東海	0	0	0	3	0	2	7	7	0	1	2	0	22
近 畿	0	0	0	4	0	2	2	9	6	4	1	0	28
中国	0	0	0	3	0	3	4	4	2	2	3	0	21
四国	0	0	0	2	0	2	6	6	0	3	1	0	20
九州	0	0	0	8	0	6	22	18	14	0	2	0	70
승 計	0	0	10	49	2	44	74	72	32	12	20	0	315
本年度の割合	0.0	0.0	3. 2	15.6	0.6	14.0	23. 5	22. 9	10.2	3.8	6.3	0.0	100
昨年度の割合	0.0	0.0	7. 1	17. 2	0.6	14.3	21.4	21.4	7.5	3.6	6.5	0.3	100
一昨年の割合	0.0	0.3	5.4	17.1	1. 3	12.7	22. 2	23.5	7.3	2. 9	6.7	0.6	100



授業日実施が60.5%、長期休業中が39.5%の傾向に大きな変化はない。授業日では「10月」 と「11月」実施が多い。

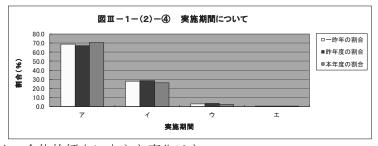
④ 実施期間について

実施期間についてお答えください。

ウ 1~2週間 エ 2週間以上

表皿-1-(2)-④ 実施期間について

	ア	1	ウ	エ	合計
北海道	15	3	0	0	18
東北	60	7	2	1	70
関東	59	28	4	0	91
北信越	37	7	0	0	44
東海	44	11	0	0	55
近 畿	27	23	3	1	54
中国	34	16	0	1	51
四国	16	6	2	0	24
九州	60	30	1	0	91
合 計	352	131	12	3	498
本年度の割合	70. 7	26. 3	2.4	0.6	100
昨年度の割合	67.5	28. 6	3.3	0.6	100
一昨年の割合	68.8	28. 1	2.7	0.4	100



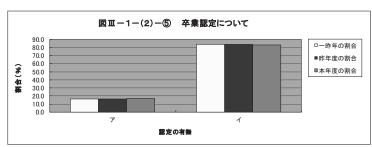
「3日以内」が70.7%と最も多く、全体的傾向に大きな変化はない。

⑤ 卒業単位としての認定について

卒業単位としての認定の有無についてお答えください。 アするイしない

表Ⅲ-1-(2)-⑤ 卒業認定について

	ア	1	合計
北海道	7	10	17
東北	9	60	69
関東	17	78	95
北信越	5	38	43
東海	14	41	55
近 畿	8	50	58
中国	12	40	52
四国	9	16	25
九州	5	88	93
合 計	86	421	507
本年度の割合	17.0	83.0	100
昨年度の割合	16.2	83.8	100
一昨年の割合	16.1	83.9	100



これまでと同様に大きな変化はない。卒業単位として認定している学校はが17%ある。

⑥ 実施上の問題点について

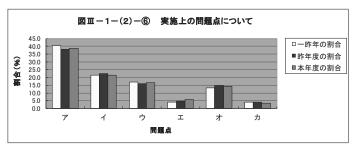
実施上の問題点についてお答えください。(3つ以内)

ア 受け入れ企業の問題 イ 事前・事後の打合せ ウ 校内指導体制

エ カリキュラムとの関連 オ 安全対策 カ その他

表 皿-1-(2)-⑥ 実施上の問題点について

	ア	1	ウ	Н	オ	カ	合計
北海道	15	6	3	1	4	1	30
東北	58	29	16	8	18	5	134
関東	73	31	35	11	21	7	178
北信越	33	21	12	6	14	3	89
東海	36	26	21	3	15	3	104
近 畿	33	30	29	10	12	4	118
中国	42	18	16	6	18	3	103
四国	21	8	6	2	7	3	47
九州	77	46	27	9	33	4	196
合 計	388	215	165	56	142	33	999
本年度の割合	38.8	21.5	16.5	5.6	14. 2	3. 3	100
昨年度の割合	38. 2	22. 5	16.1	4.7	14.5	4. 1	100
一昨年の割合	40.5	21.3	17.1	3.9	13.4	3. 9	100



「受け入れ企業の問題」が38.8%と最も多い。他の事項は学校側の工夫によりの解決可能である。

(3) インターンシップが実施できない理由について

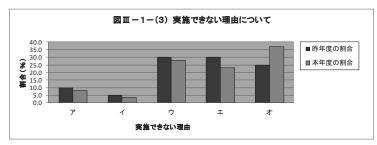
インターンシップが実施できない理由についてお答えください。(複数回答可)

ア 地域に企業が少ない イ 費用 ウ 指導体制

エ 日程 オ その他

表皿-1-(3) 実施できない理由について

	ア	1	ウ	I	オ	合計
北海道	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	1	0	5	6
関東	2	1	7	5	9	24
北信越	1	0	0	0	1	2
東海	1	0	5	5	6	17
近 畿	0	1	4	2	7	14
中国	0	0	4	3	2	9
四国	1	0	0	1	0	2
九州	2	1	3	4	2	12
合 計	7	3	24	20	32	86
本年度の割合	8. 1	3.5	27. 9	23. 3	37. 2	100
昨年度の割合	10.0	5. 0	30.0	30.0	25. 0	100
一昨年の割合						



実施していない学校の理由は「指導体制」「日程」が多い。

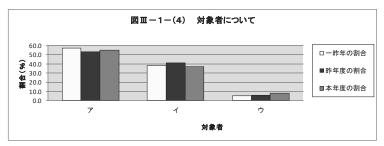
(4) 2019年度以降の実施対象者について(全ての学校に伺います)

実施対象者についてお答えください。

ア 全員に実施している イ 一部の生徒に実施する ウ 全く実施しない

表Ⅲ-1-(4) 対象者について

	ア	1	ゥ	合計
北海道	13	1	1	15
東北	47	19	4	70
関東	42	49	9	100
北信越	25	13	1	39
東海	21	34	5	60
近 畿	22	36	9	67
中国	27	20	6	53
四国	16	7	1	24
九 州	72	14	6	92
合 計	285	193	42	520
本年度の割合	54.8	37. 1	8. 1	100
昨年度の割合	53.3	40.8	6.0	100
一昨年の割合	57. 1	37.8	5. 1	100



「全く実施しない」は少なく、全員または一部で実施している。

2. デュアルシステムについて

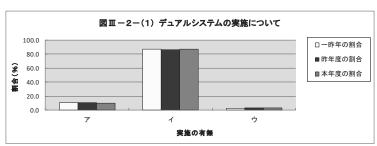
(1) デュアルシステムの実施について

デュアルシステムの実施についてお答えください。

ア 実施している イ 実施していない ウ 検討中

表Ⅲ-2-(1) デュアルシステムの実施について

	ア	1	ڻ ر	合計
北海道	0	18	0	18
東北	1	74	2	77
関東	16	93	4	113
北信越	14	29	2	45
東海	5	61	0	66
近 畿	4	62	4	70
中 国	5	50	1	56
四国	4	21	1	26
九州	8	89	4	101
合 計	57	497	18	572
本年度の割合	10.0	86.9	3.1	100
昨年度の割合	10.7	86.3	3.0	100
一昨年の割合	10.6	86.7	2.7	100



例年と同様の傾向で、86.9%は未実施である。実施校は10%で前年と大きな変化はない。

(2) 実施している学校の実施内容について

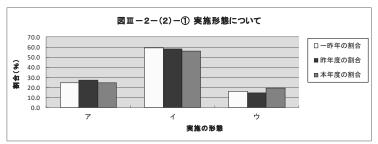
① 実施形態について

実施形態をお答えください。

ア 長期休業中 イ 科目に割り当て週毎に実施 ウその他

表Ⅲ-2-(2)-① 実施形態について

2C III 2	(- /	(1)	~ //E///	10 IC J	
	ア	イ	ゥ	合計	
北海道	0	0	0	0	
東北	1	0	0	1	
関東	3	8	5	16	
北信越	6	6	2	14	
東海	0	4	1	5	
近 畿	0	4	0	4	
中国	1	4	0	5	
四国	1	3	0	4	
九 州	2	3	3	8	
合 計	14	32	11	57	
本年度の割合	24.6	56.1	19.3	100	
昨年度の割合	27.4	58.1	14.5	100	
一昨年の割合	24.6	59 0	16 4	100	



「科目に割り当て週毎に実施」の形態が多い。

② 実施学年について

ア 1年 オ 1~2年

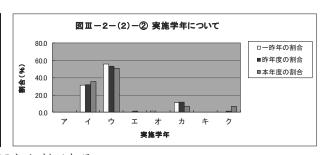
 $2 \sim 3$ 年 力

3年 丰 $3 \sim 4$ 年 工 4年

3年間以上 ク

表Ⅲ-2-(2)-② 実施学年について

	ア	1	Ļ	Н	オ	カ	+	ク	合計
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	1	0	0	0	0	0	1
関東	0	5	7	0	0	2	0	2	16
北信越	0	8	6	0	0	0	0	0	14
東海	0	0	3	0	0	1	0	1	5
近 畿	0	2	3	0	0	0	0	0	5
田田	0	2	2	0	0	1	0	0	5
四 国	0	1	3	0	0	0	0	0	4
九州	0	3	5	0	0	0	0	1	9
合 計	0	21	30	0	0	4	0	4	59
本年度の割合	0.0	35.6	50.8	0.0	0.0	6.8	0.0	6.8	100
昨年度の割合	0.0	31.7	53.3	1.7	0.0	11.7	0.0	1. 7	100
一昨年の割合	0.0	31.1	55.7	0.0	1.6	11.5	0.0	0.0	100



「3年」または「2年」の単年度実施がほとんどである。

③ 参加者について

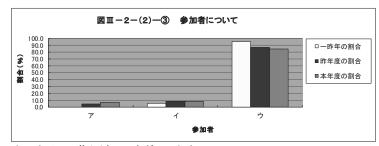
参加者をお答えください。

ア 学年全員 イ 科の生徒全員

ウ 一部の生徒

表皿-2-(2)-③ 参加者について

	ア	1	ウ	合計
北海道	0	0	0	0
東北	0	0	1	1
関東	1	2	13	16
北信越	1	1	12	14
東海	0	0	5	5 5
近 畿	1	1	3	
中国	0	0	5	5
四国	0	0	4	4
九州	1	1	7	9
合 計	4	5	50	59
本年度の割合	6.8	8.5	84.7	100
昨年度の割合	4.9	8. 2	86.9	100
一昨年の割合	0.0	5.0	95.0	100
4> 4-	- 1 √ >	ъ г	400	o 11.



参加者は「一部の生徒」が84.7%であり、集団毎の実施は少ない。

④ 実施期間について

実施期間をお答えください。

ア 1~2か月程度

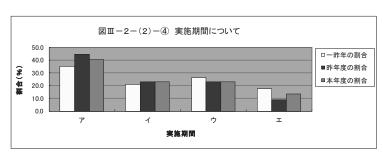
イ 3ヶ月程度

ウ半年程度

エ 1年以上

表皿-2-(2)-④ 実施期間について

	ア	1	ウ	I	合計
北海道	0	0	0	0	0
東北	0	0	0	0	0
関東	6	5	1	2	14
北信越	7	3	1	1	12
東海	1	0	1	3	5
近 畿	1	0	4	0	5
中国	2	1	1	1	5
四国	1	2	1	0	4
九 州	3	1	3	0	7
合 計	21	12	12	7	52
本年度の割合	40.4	23. 1	23. 1	13.5	100
昨年度の割合	44. 6	23. 2	23. 2	8. 9	100
一昨年の割合	35. 1	21.1	26. 3	17. 5	100



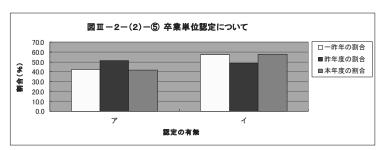
「1~2カ月程度」が40.4%、「1年以上」が昨年度より増加した。

⑤ 卒業の単位としての認定の有無について

卒業の単位としての認定についてお答えください。 ア する イ しない

表Ⅲ-2-(2)-⑤ 卒業単位認定について

<u>жш</u> 2 (۷ (ع	<i>—</i> + 3	- 千山市	c ,
	ア	1	合計	
北海道	0	1	1	
東北	0	4	4	
関東	12	9	21	
北信越	6	9	15	
東海	4	2	6	
近 畿	2	7	9	
中国	4	3	7	
四国	4	0	4	
九州	2	12	14	
合 計	34	47	81	
本年度の割合	42.0	58.0	100	
昨年度の割合	51.4	48.6	100	
一昨年の割合	42.5	57. 5	100	



認定しない学校の割合が増加している。

(3) 実施していない学校の実施上の問題点について

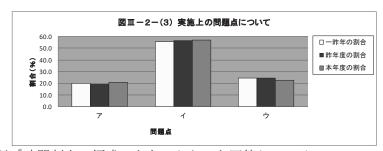
実施上の問題点についてお答えください。(複数回答可)

ア 受け入れ企業が少ないから イ 時間割上、編成できないから

ウその他

表皿-2-(3) 実施上の問題点について

	ア	1	ウ	合計				
北海道	4	10	4	18				
東北	18	45	18	81				
関東	16	62	29	107				
北信越	4	20	8	32				
東海	14	40	13	67				
近 畿	10	42	15	67				
中国	7	33	10	50				
四国	8	12	8	28				
九州	34	52	21	107				
合 計	115	316	126	557				
本年度の割合	20.6	56.7	22.6	100				
昨年度の割合	19.1	56.4	24.5	100				
一昨年の割合	19.9	55.7	24.4	100				



実施していない学校の56.7%が「時間割上、編成できないから」と回答している。

3. 地域との連携について

(1) 生徒による地域活動について

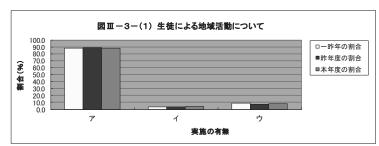
生徒による地域活動を実施していますか。

ア 実施している イ 検討中(する方向で)

ウ 実施していない

表Ⅲ-3-(1) 生徒による地域活動について

	ア	1	ウ	合計
北海道	16	2	1	19
東北	65	5	4	74
関東	106	2	6	114
北信越	38	2	3	43
東海	58	1	6	65
近 畿	59	4	8	71
中国	50	3	3	56
四国	24	1	1	26
九州	85	4	12	101
合 計	501	24	44	569
本年度の割合	88. 0	4. 2	7. 7	100
昨年度の割合	88. 9	3. 5	7. 6	100
一昨年の割合	87. 9	3. 5	8.6	100



「実施している」が88%と例年同様の傾向である。

(2)(1)を実施している学校の実施内容について

① 主たる目的について

主たる目的をお答えください。

さい。 (3つ以内) イ 地域の学校理解

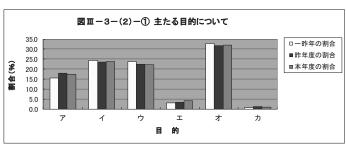
ウ 学校のPR

エ郷土愛の育成

ア 生徒の地域理解 イ 地 オ 地域貢献 カ その他

表皿-3-(2)-① 主たる目的について

	ア	1	ウ	エ	オ	カ	合計
北海道	4	7	14	3	13	1	42
東北	36	37	29	10	56	1	169
関東	38	80	63	1	81	4	267
北信越	26	22	23	2	32	0	105
東海	31	45	31	7	45	1	160
近 畿	25	38	35	4	47	1	150
中国	23	29	22	9	45	1	129
四国	11	9	14	2	22	2	60
九州	32	43	58	14	77	0	224
合 計	226	310	289	52	418	11	1306
本年度の割合	17.3	23. 7	22. 1	4.0	32. 0	0.8	100
昨年度の割合	17.8	23. 6	22.4	3.3	31.7	1. 2	100
一昨年の割合	15.4	24. 4	23.7	3.0	32. 7	0.7	100



「地域貢献」が32%と最も多く、次いで「学校理解」「PR」となっており、昨年までと同様の傾向である。

② 活動内容について

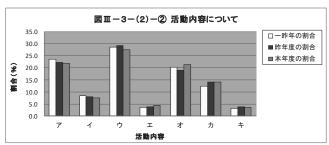
(3つ以内) 活動内容をお答えください。

イ 福祉施設等への訪問 ア 清掃活動 ウ イベント (祭りなど) への参加

オ ものづくり教室 工 交通安全指導 カ 出前授業 キその他

表Ⅲ-3-(2)-② 活動内容について

	ア	1	ウ	エ	オ	カ	+	合計
北海道	5	1	11	3	13	5	1	39
東北	37	18	48	5	40	23	3	174
関東	58	21	78	16	50	38	8	269
北信越	16	9	31	4	19	9	3	91
東海	28	13	47	10	32	21	2	153
近 畿	36	8	44	4	41	21	5	159
中国	33	11	33	4	24	18	8	131
四国	15	3	12	3	10	14	5	62
九州	53	12	51	8	46	33	11	214
合 計	281	96	355	57	275	182	46	1292
本年度の割合	21.7	7.4	27.5	4.4	21.3	14.1	3.6	100
昨年度の割合	22. 2	7.9	29.3	3.8	18.9	14.1	3.8	100
一昨年の割合	23.6	8.4	28.6	3.5	20.3	12.4	3. 1	100



「イベントへの参加」が27.5%と最も多く、「ものづくり教室」がやや増加している。

キ その他の活動

その他の具体的な取り組み(主なものを記載)

- おもちゃ修理ボランティア
- ・ 地域と連携した防災訓練
- 公民館等の電気設備の点検と補修
- ・イベントとで吹奏楽の演奏
- ・ 県警マナーアップキャンペーンに参加
- ・独居高齢者宅で電気周りの交換・清掃
- 車イスの点検・修理
- ・災害復興住宅へ出向いての生徒による階段や庭の整備 ・小学校運動会グラウンド測量
- ・小学生一輪車大会の運営
- ・幼稚園で生徒が製作した遊具を用いた園児との交流 ・幼稚園の靴入れ製作や遊具修繕
- ・中学校へのプログラミング出前授業
- ・出身中の校内施設の修繕等(屋外ベンチ)
- 製作物寄贈

- ・地域のバリアフリー調査
- ・地域の公園などの整備
- ・市民公開講座 (CAD)
- 田んぼアート
- ・ 救命救急講習への参加
- 身体障害者理解の体験活動
- ・ 医療機関でのホスピタルアート等
- ・小学生対象の部活動指導
- ・ 中学生プログラミングコンテスト開催
- ・特別支援学校との連携による物品製作

フェイスシールド、マスク、ベンチ、掲示板、ゴミストッカー、東屋、靴入れ ままごとハウス、プランター、ベランダ、地元紹介PR動画

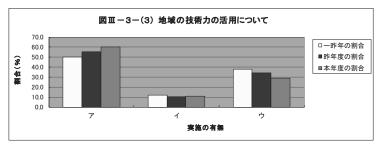
(3)地域の力を生徒の技術指導に生かすことについて

地域の力を生徒の技術指導に生かすことを実施していますか。

ア 実施している イ 検討中〔する方向で〕 ウ 実施していない

表Ⅲ-3-(3) 地域の技術力の活用について

	ア	1	ゥ	合計
北海道	16	2	1	19
東北	55	9	13	77
関東	61	12	40	113
北信越	33	6	6	45
東海	33	5	25	63
近 畿	43	10	19	72
中 国	36	6	14	56
四国	19	2	5	26
九 州	49	11	41	101
合 計	345	63	164	572
本年度の割合	60.3	11.0	28. 7	100
昨年度の割合	55. 5	10. 2	34. 3	100
一昨年の割合	50. 2	12.0	37.8	100



「実施している」が60.3%で、増加傾向にある。

(4)(3)を実施している学校の実施内容について

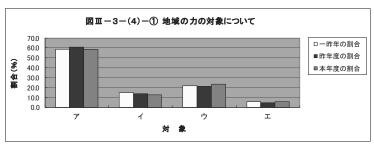
① 地域の力の対象について

地域の力の対象をお答えください。(複数回答可)

ア 地場企業 イ 地域住民 ウ 近隣の大学・高専等 エ その他

表Ⅲ-3-(4)-① 地域の力の対象について

	ア	1	ゥ	エ	合計
北海道	15	0	6	4	25
東北	57	12	25	2	96
関東	55	11	25	6	97
北信越	38	5	22	2	67
東海	36	4	12	2	54
近 畿	44	11	13	6	74
国中	39	13	15	2	69
四国	16	5	2	4	27
九州	51	15	18	5	89
合 計	351	76	138	33	598
本年度の割合	58. 7	12.7	23. 1	5. 5	100
昨年度の割合	60.6	13.6	21.2	4. 7	100
一昨年の割合	58. 6	14.5	21.4	5. 5	100



「地場企業」が58.7%と最も多く、「近隣の大学・高専等」が増加している。

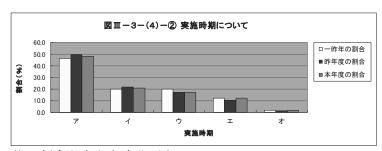
② 実施時期について

実施時期をお答えください。 (複数回答可)

ア 授業中 イ 放課後 ウ 長期休業中 エ 週休日 オ その他

表皿-3-(4)-② 実施時期について

	ア	1	ウ	Н	オ	合計
北海道	15	5	4	6	0	30
東北	52	29	14	13	1	109
関東	59	20	25	12	2	118
北信越	37	15	10	8	1	71
東海	28	15	12	8	1	64
近 畿	41	18	21	10	1	91
中国	35	14	12	13	1	75
四国	16	8	4	3	1	32
九州	45	18	15	11	4	93
合 計	328	142	117	84	12	683
本年度の割合	48. 0	20.8	17. 1	12.3	1.8	100
昨年度の割合	49.6	21. 7	17.0	10.5	1.1	100
一昨年の割合	46.3	19.8	20. 1	12. 1	1.7	100
ГІст	- All -			0/1		-



「授業中」が48%と最も多く、他の割合も大きな変化がない。

4. 高・大学等連携について

(1) 大学や専門学校等との連携の実施について

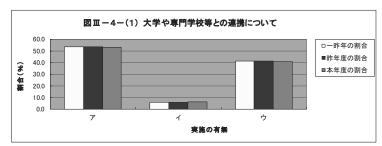
大学や専門学校等との連携を実施していますか。

ア 実施している イ 検討中〔する方向で〕

ウ 実施していない

表Ⅲ-4-(1)大学や専門学校等との連携について

	ア	1	ウ	合計
北海道	14	0	5	19
東北	41	3	33	77
関東	74	7	33	114
北信越	28	2	15	45
東海	33	7	25	65
近 畿	34	6	30	70
中国	28	3	26	57
四国	13	0	13	26
九 州	40	8	54	102
合 計	305	36	234	575
本年度の割合	53.0	6.3	40.7	100
昨年度の割合	53.3	5.8	40.9	100
一昨年の割合	53. 3	5. 6	41.1	100



実施している学校が53%、していない学校が40.7%で、例年と同様の傾向である。

(2)(1)を実施している学校の実施内容について

① 連携内容について

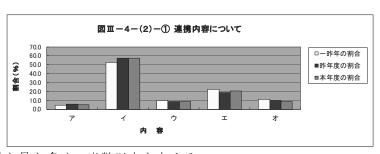
連携内容をお答えください。 (3つ以内)

ア 単位の修得 イ 知識・技術的な支援 ウ 授業補助 (チューター)

エ 施設利用 オ その他

表Ⅲ-4-(2)-① 連携内容について

	ア	1	ウ	エ	オ	合計
北海道	1	13	1	4	0	19
東北	3	37	4	13	5	62
関東	5	51	11	22	17	106
北信越	1	28	6	10	0	45
東海	8	31	1	10	2	52
近 畿	0	29	5	8	5	47
中国	1	23	6	7	1	38
四国	0	10	0	3	3	16
九 州	3	32	5	14	6	60
合 計	22	254	39	91	39	445
本年度の割合	4.9	57.1	8.8	20. 4	8.8	100
昨年度の割合	5.5	57.3	8. 9	18. 4	10.0	100
一昨年の割合	4.4	52.6	9. 9	22. 0	11.0	100



「知識・技術的な支援」が57.1%と最も多く、半数以上を占める。

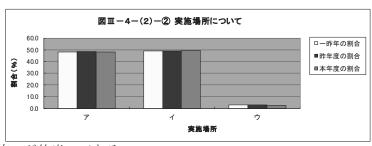
② 実施場所について

実施場所をお答えください。 (複数回答可)

ア 連携先で実施 イ 自校で実施 ウ その他

表皿-4-(2)-② 実施場所について

衣皿-4-() 天川	巴塔門門		
	ア	1	ウ	合計
北海道	9	12	0	21
東北	28	27	3	58
関東	49	55	2	106
北信越	18	23	0	41
東海	25	23	2	50
近 畿	26	21	1	48
中国	15	18	0	33
四国	5	10	0	15
九州	27	20	3	50
合 計	202	209	11	422
本年度の割合	47.9	49.5	2.6	100
昨年度の割合	48.3	48.8	2. 9	100
一昨年の割合	48. 2	48. 9	2. 9	100



「自校で実施」と「連携先で実施」が約半々である。

5. 学校開放講座について

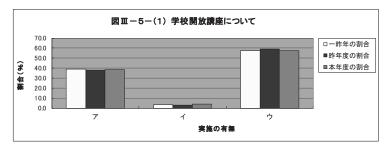
(1) 学校開放講座の実施について

学校開放講座を実施していますか。

ア 実施している イ 検討中 ウ 実施していない

表Ⅲ-5-(1) 学校開放講座について

3C III O	(1 /	7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
	ア	イ	ゥ	合計	
北海道	13	4	2	19	
東北	32	3	42	77	
関東	51	4	59	114	
北信越	9	2	33	44	
東海	27	1	38	66	
近 畿	28	1	43	72	
中国	18	3	35	56	
四国	12	0	14	26	
九州	31	5	65	101	
合 計	221	23	331	575	
本年度の割合	38.4	4.0	57. 6	100	
昨年度の割合	37.7	3.0	59.3	100	
一昨年の割合	39.0	3.4	57.6	100	



「実施している」は38.4%、「実施していない」は57.6%である。

(2)(1)を実施している学校の実施内容について

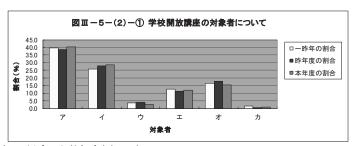
① 学校開放講座の対象者について

学校開放講座の対象者をお答えください。 (複数回答可)

ア 小学生 イ 中学生 ウ 高校生 エ 保護者 オ 一般人 カ その他

表Ⅲ-5-(2)-① 学校開放講座の対象者について

	ア	1	ڻ ر	Н	オ	カ	合計
北海道	13	4	0	3	1	0	21
東北	21	15	2	4	14	0	56
関東	38	26	3	11	15	0	93
北信越	4	4	0	1	2	2	13
東海	15	20	3	6	8	0	52
近 畿	16	13	0	3	8	0	40
中国	12	6	1	7	5	0	31
四国	7	8	0	2	0	0	17
九 州	25	11	1	7	5	1	50
合 計	151	107	10	44	58	3	373
本年度の割合	40.5	28.7	2.7	11.8	15.5	0.8	100
昨年度の割合	38.6	27. 9	3.8	11.2	17.8	0.5	100
一昨年の割合	39.6	25.8	3.8	12.8	16.5	1.5	100
Г г з	11.30	. г.	777	rI .	7 × 4	>	Г



「小学生」「中学生」が多く、「中学生」対象が増加傾向である。

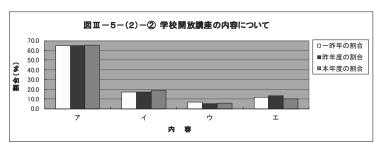
② 学校開放講座の内容について

学校開放講座の内容をお答えください。 (複数回答可)

ア ものづくり イ パソコン ウ CAD エ その他

表皿-5-(2)-② 学校開放講座の内容について

	ア	1	ウ	エ	合計
北海道	12	4	1	1	18
東北	25	7	2	5	39
関東	46	10	4	8	68
北信越	9	4	1	1	15
東海	24	4	3	6	37
近 畿	22	8	1	4	35
中国	15	3	2	2	22
四国	12	3	0	1	16
九州	29	13	3	2	47
合 計	194	56	17	30	297
本年度の割合	65.3	18.9	5. 7	10.1	100
昨年度の割合	64.8	17.3	4. 9	13.0	100
一昨年の割合	64.8	17.1	6.7	11.4	100



「ものづくり」が65.3%と最も多い。割合にあまり変化はない。

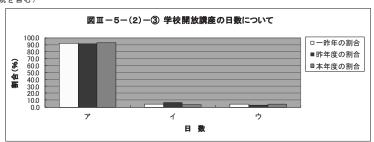
③ 講座日数について

講座日数をお答えください。 (断続を含む)

ア 5日以下 イ 10日以下 ウ 11日以上

表皿-5-(2)-③ 学校開放講座の日数について(断続を含む)

2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1						
ア	1	ウ	合計			
13	0	0	13			
33	0	0	33			
52	1	1	54			
9	0	0	9			
23	2	2	27			
23	2	3	28			
18	1	0	19			
11	0	1	12			
30	1	3	34			
212	7	10	229			
92. 6	3. 1	4.4	100			
91.0	6.3	2.7	100			
92. 3	3.9	3.9	100			
	33 52 9 23 23 18 11 30 212 92.6 91.0	33 0 52 1 9 0 23 2 18 1 11 0 30 1 212 7 92.6 3.1 91.0 6.3	33 0 0 52 1 1 9 0 0 23 2 2 23 2 3 18 1 0 11 0 1 30 1 3 212 7 10 92.6 3.1 4.4 91.0 6.3 2.7			



「5日以下」が92.6%と最も多い。

6. 産学連携・地域連携についてのまとめ

(1) インターンシップについて

「実施している」が87.3%と大半である。実施している学校は2年生、学年全員で取り組む学校が多い。実施時期は、授業日実施が60.5%、長期休業中が39.5%の傾向に大きな変化はない。授業日では「10月」と「11月」実施が多い。実施期間は3日以内が最も多く、また単位認定する学校が17%ある。実施上の問題点は、「受け入れ企業の問題」が38.8%で最も多い。他の事項は学校側の工夫により解決可能である。2019年度以降の実施対象者については、全員又は一部の生徒で実施するが91.9%である。

(2) デュアルシステムについて

実施している学校は10%である。実施は「科目に割り当て週毎に実施」が56.1%である。実施学年については、3年または2年の単年度実施がほとんどである。参加者については、「一部の生徒」の参加がほとんどで、実施期間は「 $1\sim2$ ヶ月程度」が最も多い、「1 年以上」の実施校がやや増加した。卒業単位の認定をしない学校の割合が増加している。実施上の問題点は、56.7%が「時間割上、編成できないから」、20.6%が「受け入れ企業が少ないから」と回答している。

(3) 地域との連携について

「実施している」が88%と例年同様である。内容については、「地域貢献」が最も多く、「郷土愛の育成」は少ないものの「地域の学校理解」「学校のPR」など多くの目的を持って実施されている。活動内容については「イベントへの参加」が最も多く、「ものづくり教室」がやや増加した。地域の力を生徒の技術指導に生かすことの実施は60.3%である。地域の力としては「地場企業」が58.7%で、安定している。実施時期は「授業中」が48%で最も多く、他の割合も大きな変化がない。

(4) 高・大学等連携について

実施している学校が53%、実施していない学校が41.7%と例年同様の傾向である。連携内容は「知識・技術的な支援」が57.1%と最も多い。実施場所は、連携先と自校が半々となっている。

(5) 学校開放講座について

「実施している」は38.4%となっている。対象者は「小学生」「中学生」が多く、「高校生」「保護者」は少ない。講座内容は「ものづくり」が65.3%で、期間は「5日以下」が92.6%と最も多い。

Ⅳ 学習指導・評価について

〇 調查目的

授業を進めるための基礎として授業内容や評価についてシラバスを作成している。分かる授 業や生徒の学習意欲向上のためにも必要なものでもある。教育の質的向上のために、生徒によ る授業評価の調査だけでなく、地域や保護者等の学校外部による授業評価状況についても調査 した。

1. 授業評価について

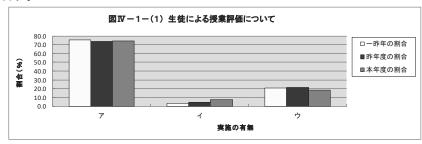
(1) 生徒による授業評価について

生徒による授業評価を実施していますか。

ア 実施している イ 検討中 ウ 実施していない

表Ⅳ-1 - (1) 生徒による授業評価について

	ア	1	ウ	合計
北海道	12	3	4	19
東北	62	2	13	77
関東	93	5	16	114
北信越	32	5	8	45
東海	34	9	23	66
近 畿	57	7	8	72
中国	48	3	6	57
四国	25	0	1	26
九 州	67	8	28	103
合 計	430	42	107	579
本年度の割合	74.3	7.3	18.5	100
昨年度の割合	73.9	4.6	21.5	100
一昨年の割合	75.8	3.3	20.9	100



「実施している」が74.3%である。

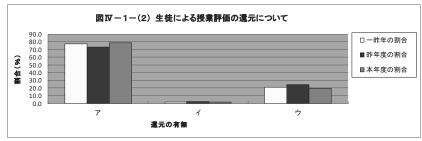
(2) 実施している学校の授業への還元について

授業に還元できていますか。

ア できている イ できていない ウ どちらともいえない

表Ⅳ-1 -(2) 生徒による授業評価の還元について

	ア	1	ウ	合計
北海道	10	0	2	12
東北	49	0	14	63
関東	76	2	13	91
北信越	26	0	6	32
東海	26	0	9	35
近 畿	42	2	15	59
中国	38	1	9	48
四国	16	1	8	25
九州	57	0	10	67
合 計	340	6	86	432
本年度の割合	78. 7	1.4	19. 9	100
昨年度の割合	73. 3	2. 3	24. 4	100
一昨年の割合	77. 1	1.6	21. 3	100



「できている」としている学校が78.7%である。

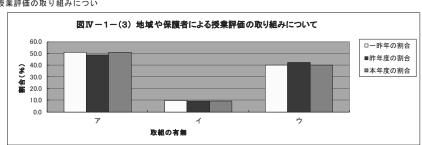
(3)地域の人や保護者による授業評価について

地域の人や保護者による授業評価に取り組んでいますか。

イ 検討中 ア 取り組んでいる ウ 取組はない

表Ⅳ-1 - (3) 地域や保護者による授業評価の取り組みについ

	ア	1	ウ	合計
北海道	12	2	3	17
東北	32	7	35	74
関東	65	5	38	108
北信越	22	6	13	41
東海	31	8	23	62
近 畿	36	3	32	71
中国	28	9	20	57
四国	16	3	7	26
九 州	40	9	49	98
合 計	282	52	220	554
本年度の割合	50.9	9.4	39.7	100
昨年度の割合	48.6	9.4	42.0	100
一昨年の割合	50.7	9. 5	39.9	100



「取り組んでいる」が50.9%で傾向にあまり変化はない。

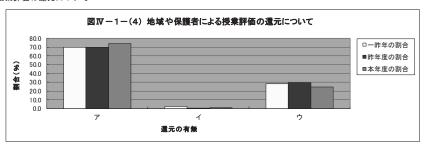
(4)取り組んでいる学校の授業への還元について

授業に還元できていますか。

ア できている イ できていない ウ どちらともいえない

表IV-1-(4) 地域や保護者による授業評価の還元について

	ア	1	ウ	合計
北海道	10	0	2	12
東北	25	0	7	32
関東	58	1	11	70
北信越	20	0	3	23
東海	22	0	12	34
近 畿	24	3	12	39
中国	21	0	10	31
四国	11	0	5	16
九 州	31	0	11	42
合 計	222	4	73	299
本年度の割合	74. 2	1. 3	24. 4	100
昨年度の割合	69.6	0. 7	29.7	100
一昨年の割合	69.7	2. 1	28. 2	100



「できている」と回答した学校が約74.2%と増加している。

2. 学習評価の改善について

(1) 学校全体での改善について

学校全体で評価の改善に取り組んでいますか。

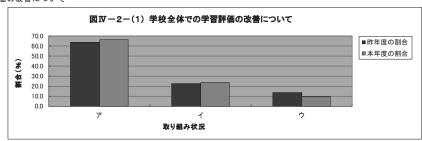
ア 学校全体で取り組んでいる

イ 一部で取り組んでいる

ウ 取り組んでいない

表Ⅳ-2 - (1) 学校全体での学習評価の改善について

	ア	1	ウ	合計
北海道	17	2	0	19
東北	59	12	6	77
関東	75	26	12	113
北信越	33	9	2	44
東海	38	18	10	66
近 畿	45	22	4	71
中国	36	18	3	57
四国	18	5	2	25
九州	61	25	15	101
合 計	382	137	54	573
本年度の割合	66.7	23. 9	9.4	100
昨年度の割合	64.0	22. 4	13.5	100
一昨年の割合				



66.7%の学校が学校全体で評価の改善に取り組んでいる。

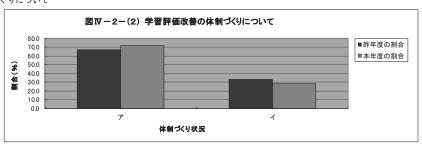
(2) 体制づくりについて

改善のための体制づくりを行っていますか。

ア 行っている イ 行っていない

表Ⅳ-2 - (2) 学習評価改善の体制づくりについて

	ア	1	合計
北海道	17	2	19
東北	62	14	76
関東	77	34	111
北信越	36	9	45
東海	45	20	65
近 畿	49	22	71
中 国	41	16	57
四国	17	9	26
九州	67	34	101
合 計	411	160	571
本年度の割合	72.0	28. 0	100
昨年度の割合	67. 1	32. 9	100
一昨年の割合			



72%の学校で改善の体制づくりを行っている。

(3) 評価指標や評価方法について

実施または使用している評価指標や評価方法をお答えください。(複数回答可)

アニア アルーブリック アルーブリック

エ 観点別評価

才 自己評価

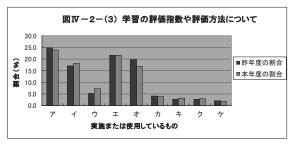
カ 生徒相互評価

キ パフォーマンス評価

ク ポートフォリオ評価 ケ その他

表Ⅳ-2 - (3) 学習の評価指数や評価方法について

	ア	1	ウ	エ	オ	カ	+	ク	ケ	合計
北海道	12	12	4	12	7	3	1	2	0	53
東北	42	37	4	37	35	10	5	1	6	177
関東	62	41	18	59	38	9	5	5	3	240
北信越	21	15	4	16	27	3	5	1	1	93
東海	38	22	12	42	18	3	8	9	3	155
近 畿	37	31	7	33	26	7	6	11	2	160
中国	29	24	18	27	21	5	5	4	3	136
四国	15	11	2	11	8	2	0	1	2	52
九 州	57	44	26	46	40	8	7	5	4	237
合 計	313	237	95	283	220	50	42	39	24	1303
本年度の割合	24.0	18. 2	7. 3	21.7	16.9	3.8	3. 2	3. 0	1.8	100
昨年度の割合	24.8	17.1	5. 1	21.6	19.9	4. 0	2. 6	2. 7	2. 1	100
一昨年の割合										



「評定」「観点別評価」「評点」「自己評価」の順に多い。延べ回答数が1303件(昨年875件) と増えていることから、多面的な評価を行う学校が増える傾向にあると思われる。

3. 学習指導・評価についてのまとめ

(1) 授業評価について

生徒による授業評価を「実施している」は74.3%で、昨年度と同様の傾向である。また、授業に還元できている学校は78.7%である。地域の人や保護者による授業評価は、「取り組んでいる」が約半数以上であり、一方「取組はない」も39.7%である。また、授業に還元できている割合は74.2%と昨年より増加している。今後も新期学習指導要領に向けて授業改善に重点的に取り組む必要がある。

(2) 学習評価の改善について

学習評価の改善については、ほとんどの学校が全体または一部で取り組んでいる。そのための体制づくりが昨年より増加したが、さらなる取り組みが求められる。また、評価指標や評価方法については、「評定」「観点別評価」「評点」「自己評価」の割合が高く、新しい方法や多角的な評価を取り入れている学校が増える傾向にある。

あとがき

環境の変化が激しい現代社会においては、今の高校生が社会で活躍する年代になったときにその社会がどのようになっているのかを予測することは極めて困難です。しかし、環境の変化が激しい時代ほど、既存の発想にとらわれず、チャレンジ精神を持ち、新しい価値を社会に生み出すことができる、そのような人材が求められることは間違いのないところです。その要請に応えるためにも、私たち教職員は、様々な変遷を経ている工業教育にこれまで携わってきた経験と知見を生かしながら、生徒が在籍中に身につけるべき資質や能力を明確にする必要があり、さらにはそれぞれの学校が社会との関わりを十分に保ちながら、それぞれの学校の教育課程がその役割をしっかり果たしていくことが重要となります。

このことは、新期学習指導要領において「社会に開かれた教育課程」という理念として掲げられていますが、それは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創っていくという目標を学校と社会が共有し、学校においては、社会人として求められる資質・能力を身につけさせるために何をどのように学ばせるのかを明確にしながら、その実現を図っていくということです。具体的には、情報活用能力や問題解決能力など学習の基盤となる能力育成の観点から教科間の横断的な教育活動を導入したり、評価と改善をつなぐ意味でのPDCAサイクルの確立や地域の教育資源の活用といった地域社会との連携・協働の推進を図るなどの様々な取組が必要となってきます。

教育課程を中心に据えながら、このような様々な取組を実践していく考え方、すなわちカリキュラム・マネジメントの確立が求められる中、本調査のとりまとめがこれからの工業教育推進のための一つの指針となり、将来のスペシャリスト育成に向けた地域・産業界との連携・協働、特色ある学校づくりのさらなる推進や生徒たちの豊かな人間性の育成を進めるうえで参考になることを願っています。

末筆ではありますが、全国工業高等学校長協会並びに会員校のますますの充実・発展、会員の 皆様の御健勝を祈念申し上げます。

資料

調查•回答用紙

昭和57年度以降の工業に関する学科新設及び廃止状況

年度別調査項目一覧表

2020年度 教育課程委員会調査用紙(悉皆調査1)

ログアウト

学校ポータルに戻る

研究主題「教育課程」に関する調査

〔入力上の注意〕

- (1)調査対象校は、全日制課程を設置する学校[全日制·定時制併設校にあっては全日制課程のみ]です。 定時制課程については独立校のみです。
- (2)複数の大学科を設置している学校は工業学科について回答してください。
- (3)回答途中で5分以上未入力が続くと、データが登録されません。ご注意下さい。
- (4)データ入力を中断する場合は「ログアウト」をおしてから退席してください。そこまでのデータは登録されています。再度入力する際にはログインしなおしてください。
- (5)回答が完了したら「回答完了」ボタンを押してください。

② ①でアと回答した学校に伺います。

□ ア 基礎的な学え□ カ 産業界との選(2) 教育課程の写□ ア 基礎的・基本生命を尊重する精格	・ ついて伺います。 ×的な考え方は何 hの定着 □ イ専門	的な技術・技能教 に取り組む内容 D確実な習得と活 の推進 □ キ 安:	育の充実 □ ウキ ドは何ですか。(用 □ イ学習習慣 全教育の推進 □	3つ以内) の確立 □ ウ 伝	ー 統や文化に関す	る教育 □ エ 璟	一 貴境保全に関する教	対育 □ オ 自他の
	修単位について作							
① 学科・コースによ	って異なる場合は単	位数を代表的な学	*科・コースについ	て単位数を記入し	てください。			
	全員履修科目単位数	選	択科目単位数(最)	大) 総合	的な学習の時間の	の単位数・	課題研究の単位数	((株 株 た 会 ナ 、)
普	通科目 専門	科目 普通	科目 専門	科目	(代替は含まな	(1)	沐起切九の半世数	(八首を占む)
総計	位 位	単 Z	単	単位	単位	ż		単位
3 卒業に必要な科 単位 (4) 新学習指導3 ① 実施予定単位の ○ ア決定済 ○ ~	HR活動の時間数を 目の修得単位数は何 見領における数学の検討状況を教えてく の検討サロ は決定の単位数をお	可単位ですか。 と理科の履修単 ださい。		います。				
数学 I	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C			
単位	単位	単位	単位	単位	Ĭ Ü Ü	.(立		
③ 理科の予定また	は決定の単位数をお	ら答えください。						
科学と人間生 活	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学
単位	位 位	位	位	位	位	位	位	位
(5) 進学希望者の ① 進学希望者の指 ○ アはい ○ ~	。 導について教育課程	呈上の対応をしてい	いますか。					

i どのような対応をしていますか。(複数回答可) □ ア選択教科 □ イコース又は類型で指導 □ ウ その他 ii i でアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可) □ ア国語 □ イ数学 □ ウ 英語 □ ェ 物理 □ オ 化学 □ カ 地歴・公民 □ キ その他 iii i でアと回答した場合の進学を考慮した3年間での選択教科・科目の単位数
○ ア 4単位以下 ○ イ 6単位以下 ○ ウ 8単位以下 ○ エ 10単位以下 ○ オ 11単位以上③ 教育課程以外で何か対応していますか。
○ アはい ○ イいいえ
④ ③でアと回答した学校に伺います。 i どの時期に対応をしていますか。(複数回答可) □ ア 早朝もしくは放課後の課外授業で対応 □ イ 長期休業中 □ ウ その他 ii i でアと回答した場合の選択教科・科目名(複数回答可) □ ア 国語 □ イ 数学 □ ウ 英語 □ エ 物理 □ オ 化学 □ カ 地歴・公民 □ キ その他
(6) 大学入試、外部検定試験について① 大学入試センター試験を受験していますか。○ ア はい ○ イ いいえ
② ①でアと回答した学校に伺います。 i 昨年度の受験者は何名ですか。(過年度卒も含む) -選択してください・ ✓ ii どのような対応をしていますか。 ○ ア教育課程上で対応 ○ イ教育課程以外で対応 iii 対応している教科・科目名(複数回答可) □ ア国語 □ イ数学 □ ウ 英語 □ エ 物理 □ オ 化学 □ カ 地歴・公民 □ キ その他 iv 実際に受験した教科・科目名(複数回答可) □ ア国語 □ イ数学 □ ウ 英語 □ エ 物理 □ オ 化学 □ カ 地歴・公民 □ キ その他
(7) ICT教育・情報化教育の取り組みについて ① ICT機器の活用について 工業専門科目の座学で、ICT機器の活用についてお答え〈ださい。
 ○ ア よく活用している ○ イ 少し活用している ○ ウ あまり活用していない ○ エ 全く活用していない ② ①でア、イと回答した学校に伺います。 活用しているICT機器についてお答えください。活用方法ではありません。(複数回答可) □ ア プロジェクタ □ イ タブレット □ ウ 電子黒板 □ エ スマートフォン □ オ デジタルカメラ(ビデオ) □ カ 書画カメラ(実物投影機) □ キ その他 ③ IoT技術についての取り組みはありますか。 ○ ア はい ○ イ いいえ
④ ③でアと回答した学校に伺います。 具体的な取り組みをお答えください。
共体的なAXが他がその含んNにCb い。
(8) 遠隔システムについて ① 遠隔システムを利用した授業を行っていますか
○ ア はい ○ イ いいえ② ①でアと回答した学校に伺います。具体的な状況を教えてください。
Ⅱ 学校改革に関する調査
1 学校改革・活性化について (1) 学校改革・学校活性化で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内)
(I) 子校改車・子校活性化で特に力を入れているものを何います。(3つ以内) □ ア 学校の統合 □ イ 学科の新設や改編 □ ウ 入学者選抜の見直し □ エ 特色ある教育課程の編成 □ オ 学校評価 □ カ 職員の意識改革 □ キ ものづ くり □ ク 挨拶・服装・マナー指導 □ ケ 進学指導 □ コ 就職指導 □ サ 資格指導 □ シ 部活動 □ ス 地域との連携 □ セ 企業や他の教育機関との連携 □ ソ その他

(2) 職員の意識改革で特に力を入れているものを伺います。(3つ以内) □ ア 企業の人を招いての研修会・懇談会 □ イ 企業や他の教育機関の実施する講習会への派遣 □ ウ 職員グループによる学校の課題の研究 □ エ 教員評価システムの活用 □ オ 保護者、地域への授業公開 □ カ 管理職による職員への積極的な情報の提示 □ キ その他 (3) 長期休暇期間について伺います。 ① 長期休業期間の短縮による授業設定の有無、及び授業設定日数について伺います。 □選択してください ▼ ② 授業の内容 ○ ア 通常日課の授業 ○ イ 資格取得のための特別授業 ○ ウ その他
Ⅲ 産学連携・地域連携に関する調査 学習指導要領では、産業現場等における実習を取り入れるなどの就業体験の機会を積極的に設けることが謳われています。このことを踏まえ、現在のインターンシップへの取組と、今後の取組についてお答えください。 なお、本調査では、デュアルシステムとは連続であれば1ヶ月以上、週ごとであれば3ヶ月以上の就業体験とします。 1 インターンシップについて (1) インターンシップの実施について伺います。 ○ ア 実施している ○ イ 検討中 ○ ウ 実施していない
(2) (1)でアと回答した学校に伺います。(対象生徒が複数回実施している場合は主なもの) ① 実施学年 □選択してください・ ② 参加者 □選択してください・ ② 実施時期 ○ ア 長期休業中 ○ イ 授業日 □ 月 ④ 実施期間 □選択してください・ ⑤ 卒業の単位として認定の有無 ○ ア する ○ イ しない ⑥ 実施上の問題点はどんなことですか。(3つ以内) □ ア 受け入れ企業の問題 □ イ 事前・事後の打合せ □ ウ 校内指導体制 □ エ カリキュラムとの関連 □ オ 安全対策 □ カ その他 (3) (1)でイまたはウと回答した学校に伺います。 インターシップが実施できない理由は何ですか。(複数回答可)
フ 地域に企業が少ない □ イ 費用 □ ウ 指導体制 □ エ 日程 □ オ その他 (4) 2019年度以降の実施対象者について(全ての学校に伺います) ア 全員に実施している ○ イ 一部の生徒に実施する ○ ウ 全〈実施しない 2 デュアルシステムについて (1) デュアルシステムの実施について伺います。 張択してください- ▼
(2) (1)でアと回答した学校に伺います。 ① 実施形態 -選択してください- ② 実施学年 -選択してください選択してください- ③ 参加者 -選択してください- ③ 実施期間 -選択してください- ⑤ 卒業の単位としての認定の有無 ○ アする ○ イ しない (3) (1)でイと回答した学校に伺います。 実施上の問題点についてお答えください。(複数回答可) □ ア 受け入れ企業が少ないから □ イ 時間割上、編成できないから □ ウ その他
(1) 生徒による地域活動を実施していますか。

(2) (1)でアと回答した学校に伺います。 ① 主たる目的(3つ以内)
□ ア 生徒の地域理解 □ イ 地域の学校理解 □ ウ 学校のPR □ エ 郷土愛の育成 □ オ 地域貢献 □ カ その他② 活動内容(3つ以内)
□ ア 清掃活動 □ イ 福祉施設等への訪問 □ ウ イベント〔祭りなど〕への参加 □ エ 交通安全指導 □ オ ものづくり教室 □ カ 出前授業□ キ その他
(3) 地域の力を生徒の技術指導に活かすことを実施していますか。 ○ ア実施している ○ イ検討中(する方向で) ○ ウ実施していない
(4) (3)でア、イと回答した学校に伺います。 ① 地域の力の対象 (複数回答可) □ ア 地場企業 □ イ 地域住民 □ ウ 近隣の大学・高専等 □ エ その他 ② 実施時期 (複数回答可) □ ア 授業中 □ イ 放課後 □ ウ 長期休業中 □ エ 週休日 □ オ その他
 4 高・大学等連携について (1) 大学や専門学校等との連携を実施していますか。 ○ ア実施している ○ イ検討中(する方向で) ○ ウ実施していない
 (2) (1)でアと回答した学校に伺います。 ①連携内容(3つ以内) □ ア 単位の修得 □ イ 知識・技術的な支援 □ ウ 授業補助(チューター) □ エ 施設利用 □ オ その他 ② 実施場所 (複数回答可) □ ア 連携先で実施 □ イ 自校で実施 □ ウ その他
5 学校開放講座について(1) 学校開放講座を実施していますか。○ ア 実施している ○ イ検討中 ○ ウ 実施していない
 (2) (1)でアと回答した学校に伺います。 ① 対象者(複数回答可) □ ア 小学生 □ イ 中学生 □ ウ 高校生 □ エ 保護者 □ オ 一般人 □ カ その他 ② 内容(複数回答可) □ ア ものづくり □ イ パソコン □ ウ CAD □ エ その他 ③ 講座日数(断続を含む) ○ ア 5日以下 ○ イ 10日以下 ○ ウ 11日以上
W.70 le V Tre DD le 7 Dr.
 IV 学習指導・評価に関する調査 1 生徒による授業評価について (1) 生徒による授業評価を実施していますか。 ○ ア実施している ○ イ検討中 ○ ウ実施していない
(2) (1)でアと答えた学校に伺います。 授業に還元できていますか ○ ア できている ○ イ できていない ○ ウ どちらともいえない
(3) 地域の人や保護者による授業評価に取り組んでいますか。 ○ ア 取り組んでいる ○ イ 検討中 ○ ウ 取組はない
(4) (3)でアと答えた学校に伺います。 授業に還元できていますか。 ○ アできている ○ イできていない ○ ウ どちらともいえない
 2 学習評価の改善について (1) 学校全体で評価の改善に取り組んでいますか。 ○ ア 学校全体で取り組んでいる ○ イー部で取り組んでいる ○ ウ 取り組んでいない
(2) 改善のための体制づくりを行っていますか。 ○ ア 行っている ○ イ 行っていない
(3) 実施または使用している評価指標や評価方法をお答えください。(複数回答可)

20

020年度 学校経営委員会調査項目(悉皆調査1)	
の工業教育を推進していく上でも重要な課題であると考えます。この調査は各者	(2020年4月1日現在の人数) 「が、新規採用にも影響がでるものと考えられます。若い教員が不足している現在、今後 『道府県の現状を把握し、新規採用教諭確保をどのような視点から進めていくか、その手
だてを探る資料とするものです。 あなたの学校で、2019年度末における工業科教諭の退職者は何名ですか そのうち再雇用ではなく、再任用教諭になったのは何名ですか 2020年度の工業科教諭での新規採用教諭は何名ですか (注) 1.定時制、通信制併設の場合は、合計数を記入してください。	名 名
 2.工業科教諭とは管理職以外の教員です。 3.再任用教諭とは、各学校の工業科教諭の定数枠に算入されることを基本とす (教諭・主任教諭・指導教諭・主幹教諭) ①現役教諭と同等の勤務条件である教諭 ②現役教諭の8割程度の勤務条件である教諭 ③現役教諭の5割程度の勤務条件で、定数枠は0.5人分として算入される教諭 	
ー の産業展等への出展 □ ク 校内の作品展開催	
2 地域との連携について(1)特徴的な取り組みがあれば、実施内容をご入力ください。	^ <u>~</u>
実施内容	

™ 次年度のアンケート項目に関して、ご要望があれば記述してください。

	Q	
回答完了		

昭和57年度以降の工業に関する学科新設状況(名称変更も含む)

〈全工協会全国工業高等学校要覧より〉

																		\ ±	カカカウ :	五王匠		司守子	校要覧	もみり/
新設学科名	H10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
	年度以前	11	14	13	14	10	10	11	10	19	20	21	22	23	24	23	20	21	40	49	30	ΝI	NΔ	口口
意匠情報						\Box				1														1
インテリア	2	ĺ		ĺ																				2
インテリア・建築					\vdash			\Box	1														-	1
インテリアデザイン	2	-		-	\vdash		\vdash	\vdash	1												-		1	3
映像デザイン	1	-		-	\vdash	$\vdash \vdash$	\vdash	$\vdash \vdash$	—									\vdash			 		1	ل 1
	1		-		 	$\vdash \vdash$	-	++	-	-	-1												-	1
エネルギー技術		<u> </u>	-	<u> </u>	 	╙	\vdash	╨	⊢	-	1	\vdash						\vdash		<u> </u>	<u> </u>	\vdash	\vdash	1
応用化学	1					igsquare		$oxed{oxed}$	<u> </u>															1
応用化学工学						igsquare		igsquare										1	1				لـــــا	2
応用技術			1																					1
応用デザイン	1					2																		3
オートモビル工学					\vdash		1	\Box															-	1
開発土木	3				\vdash	\vdash	- 1	\vdash	—												-		-	3
海洋開発	1				\vdash	$\vdash \vdash$	\vdash	\vdash	 														-	1
伊仟用完		-	-	-		igwdapprox	\vdash	\vdash	├	_											-		-	1
化学	7					igspace	\vdash	Щ	⊢—	1													\vdash	8
化学応用	1					igsquare		$oxed{oxed}$	<u> </u>															1
化学技術	3						1		1	1														6
科学技術	3					2		1	1						1								ı	8
化学系		ĺ		ĺ					1															1
化学工学						\vdash		\vdash									1						-	1
科学工学		-		-	\vdash		1	\vdash	-							1	1				-		-	2
化学工業	0.1	 	 	 		$\vdash \vdash \vdash$	1	┉	 	 		\vdash				1	1	\vdash		-	 	\vdash	\vdash	
ルチ上来	21	<u> </u>	-	<u> </u>	 	igspace	\vdash	$\vdash \vdash$	⊢	-		\vdash				1	1			<u> </u>	<u> </u>	\vdash	\vdash	23
化学システム	3	<u> </u>		<u> </u>	└	igspace	\vdash	-	⊢												<u> </u>		igwdapsilon	3
化学デザイン	1	<u> </u>		<u> </u>		igspace		igsquare	<u> </u>												<u> </u>		لــــا	1
画像工学	1	<u> </u>		<u> </u>	L_ '	<u></u> '		<u>'</u>													<u> </u>			1
画像工学·電子情報									1														ı T	1
環境・電気情報システム	1																						\Box	1
環境エネルギ		i		i	Г	М	1	\vdash								1	1				i		$\neg \neg$	3
環境化学	2	1	4	 	1	1	1	1	 				1			1	1	\vdash			 		\dashv	12
環境科学	1	1	4	 	1	1	1	┵	 	-		\vdash	1					\vdash		-	 	\vdash	\vdash	
	1	-	-	-	-	igwdapsilon	┢	igwdapprox		-											-		-	1
環境化学システム	1	<u> </u>		<u> </u>	└	igspace	\vdash	\vdash	1												<u> </u>		igwdapsilon	1
環境技術		<u> </u>		1		igspace		1	<u> </u>		1	1									<u> </u>		لــــا	4
環境建設	3	1	1		1		1	!	1														ı	7
環境建設工学										1														1
環境建築						1																	\Box	1
環境工学	6							\vdash							1			1	1					9
環境サイエンス	- 0	1	-			\vdash		\vdash	—	-					1			1	1				-	1
塚境リイエンへ	C	1	-1	0	\vdash		\vdash	-	├															
環境システム	6		1	3		1	ldash	1	ــــــ														\vdash	12
環境設備				1									1											2
環境テクノロジ						1																		1
環境デザイン	1										1										1			3
環境土木	1			1		2			1				1											6
環境ビジネス					1			\Box															-	1
機械	12			2	2	2	1	3	4	1	4		1	1	4	6	7	2	1		1			54
機械・エネルギー	12		-				1	J	- 1	1	- 1		1	1	- 1	U	- '		1		1		-	1
						$\vdash \vdash$	\vdash		-				1					-1	-1				-	
機械・材料工学						igspace	\vdash	Щ	<u> </u>									1	1				\vdash	2
機械・自動車						igsquare		igsquare	3															3
機械・制御					1																			1
機械・電気								!	1								1						ı	1
機械·電気系									1															1
機械・電子機械									1		1					2				1			\Box	5
機械・ロボット								\vdash										1	1					2
機械化学	1	 	+	 				$\vdash \vdash$	+	1			1		1			1			i .		\vdash	1
70岁7007112 子	1	1				1													_					1
機械加工	1				 		1	\vdash															, ,	
機械技術	_						1																	
	2						1																	2
機械技術類	2						1				1													2
機械技術類機械系	2						1		2		1									1_				2 1 3
機械技術類 機械系 機械工学	2	1				1	1	2	2 2		1	1			1			3	2	1	2	1	1	2
機械技術類 機械系 機械工学	2	1				1		2			1	1			1			3	2	1	2	1	1 1	2 1 3
機械技術類機械系		1	2	2	2	1	1	2				1						3	2	1	2	1	1 1 5	2 1 3 18
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム	2	1	2	2	2	1					1 2	1			1 2					1	2	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御	16	1	2	2	2	1	1													1	2		1 1 5	2 1 3 18 1 37 2
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御 機械生産システム	16	1	2	2	2	1	1					1								1	2		1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム	16	1	2	2	2	1	1					1								1	2	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム	16	1	2	2	2	1	1					1								1	2		1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御 機械生産システム 機械設備・システム 機械設備・システム 機械創造 機械造船	16	1	2	2	2	1	1					1								1	2	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械創造 機械造船 機械产クニカル	16	1	2	2	2	1	1			1		1								1	2	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械創造 機械造船 機械产クニカル	16	1	2	2	2	1	1			1		1								1	2	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械創造 機械造船 機械造船 機械テクニカル 機械デクニカル	16	1	2	2	2	1	1			1		1								1	2	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械創造 機械造船 機械テクノロジー 機械テクノロジー系列	16	1	2	2	2	1	1					1								1	2	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械がアクノロジー 機械テクノロジー系列 機械デグノロジー系列	16	1	2	2	2	1	1	1	1	1		1								1	2	1	1 1 5 1	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備 とステム 機械が 機械が 機械が 機械が 機械が 機械が 機械が 機械が 機械が 機械が	16	1	2	2	2	1	1					1								1	1	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 2 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備 機械が立路 機械デクニカル 機械デクノロジー系列 機械デクノロジー系列 機械デザイン 機械デダステム	16	1	2	2	2	1	1	1	1	1		1								1	1	1	1 1 5 1	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械制御 機械生産システム 機械創造 機械創造 機械造船 機械デクニカル 機械デクノロジー系列 機械デザイン 機械デザイン 機械電気システム 機械電子	16	1	2	2	2	1	1	1	1	1		1					1			1	1	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 2 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械制御 機械生産システム 機械創造 機械企門・ファム 機械デクニカル 機械デクニカル 機械デクニカル 機械デクノロジー系列 機械デザイン 機械電気 機械電気 機械電気 機械電大	16	1	2	1	2	1	1	1	1	1		1	1			1	1 1			1	1	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械制御 機械生産システム 機械創造 機械企門・ファム 機械デクニカル 機械デクニカル 機械デクニカル 機械デクノロジー系列 機械デザイン 機械電気 機械電気 機械電気 機械電大	16	1	2	2	2	1	1	1	1	1		1	1			1	1			1	1	1	1 1 5 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 2 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械適間造 機械テクニカル 機械テクノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械電気システム 機械電気システム 機械電子 機械電子 機械プラニング	16	1	2	2	2	1	1	1	1	1		1	1			1	1			1	1	1	1 1 5 1	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械工学 機械・建築システム 機械砂雄・ステム 機械制御 機械生産システム 機械設備・システム 機械設備・システム 機械ご自 機械デクニカル 機械デクニカル 機械デクノロジー系列 機械デクノロジー系列 機械電気 機械電気 機械電気 機械電子 機械士木 機械士木 機械ガラニング 機械類	16	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1	1 1 5 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 1 0 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械が建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械ご船 機械テクノロジー 機械テクノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械デザイン 機械電気 機械電気 機械電気 機械電子 機械電子 機械プニング 機械プニング 機械類 機械ロボットシステム	16	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1	1 1 5 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 10 1 1 3 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械が登り 機械テクノロジー系列 機械デグノロジー系列 機械電気 機械電気 機械電気システム 機械電気システム 機械電子 機械プラニング 機械プラニング 機械でデザイン 機械でデザイン 機械でデザイン 機械であるシステム 機械電子 機械であるシステム 機械であると 機械である。 機械である 機械である。 機械である。 機械である。 機械である。 機械である。 機械である。 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である 機械である	16	1		2	2	1	1	1	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1	1 1 5 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械制御 機械生産システム 機械創造 機械設備システム 機械創造 機械テクニカル 機械テクニカル 機械デクニカル 機械デグニカル 機械デグニカル 機械デザイン 機械電気システム 機械電気システム 機械電子 機械工学	16	1	2	1	2	1	1	3	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械売りクロジー 機械テクニカル 機械デクニカル 機械デザイン 機械電気システム 機械電気システム 機械電子 機械土木 機械プラニング 機械類 機械ロボットシステム 技術 基礎	16	1		1	2	1	1	1	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1 2 2	1 1 5	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械を産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械がデクニカル 機械デクノロジー系列 機械デクノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械でラクノロジー系列 機械である となっ 機械である となっ をはなる となっ となっ となっ となっ となっ となっ となっ となっ となっ となっ	16	1		1	2	1	1	3	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1	1 1 5 1	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械・建築システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械売りクロジー 機械テクニカル 機械デクニカル 機械デザイン 機械電気システム 機械電気システム 機械電子 機械土木 機械プラニング 機械類 機械ロボットシステム 技術 基礎	16	1		1	2	1	1	3	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1 2 2	1 1 5 1	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械・建築システム 機械システム 機械を産システム 機械制御 機械生産システム 機械設備システム 機械設備システム 機械設備システム 機械ご船 機械テクノロジー系列 機械デクノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械電気 機械電気 機械電気 機械電気 機械電子 機械プラニング 機械プラニング 機械型 機械フラニング 機械類 機械ロボットシステム 技術 基礎工学 キャリア技術 キャリアデザイン 京都伝統産業	16			1	2	1	1	3	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1 2 2	1 1 5 1	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
機械技術類 機械系 機械工学 機械工学 機械と建築システム 機械システム 機械を産システム 機械配備システム 機械配備システム 機械設備システム 機械ご路 機械テクノロジー系列 機械デクノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械デケノロジー系列 機械電気 機械電気 機械電気 機械電子 機械工・ 機械プラニング 機械型 機械ロボットシステム 技術 基礎工学 キャリア技術 キャリアデザイン	16			1	2	1	1	3	1	1	2	1	1			1	1			1	1	1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 1 3 18 1 37 2 1 1 2 3 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

新設学科名	H10 年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
金属工学												1												1
グラフィツクアーツ クラフト	5 1																							5 1
クリエイティブデザイン								1																1
経営システム	1																							1
建設 建設·電子	18					1	1			1	1	1	2		1	1	3							29 1
建設環境									1															1
建設技術	3																		1					4
建設技術類 建設工学	14		1	1				2			1							1	1					21
建設工業	1		1							1	1							1	1					2
建設システム	1			1																	1			3
建設造形建築	6			1				1	1						2	2	1							1 14
建築·建設	0			1				1	1								1							1
建築・電気																		1	1					2
建築・木材 建築インテリア	1						1	1	2										-					1 5
建築学	1						1	1														1		1
建築環境				1	1	2																		4
建築技術 建築技術系列										1								1	-					1
建築系									1	1														1
建築工学		1							1	1		1												4
建築システム	5		1	2	2	1													1					11
建築情報 建築設備			-		1			1		-			-	-	-	-		-	1	1	-			2
建築デザイン	3							2		2			1										1	9
建築都市工学										1														1
建築土木 建築ビジュアル	1		-					1	3	1		1	-		1		1		-	1				9
工学Ⅰ類	2							1								1								3
工学Ⅱ類	2																							2
工学																	1		ļ	1				1
工学系工業	2	1						1								3	3	5	1				2	18
工業I群	ı								2							Ŭ								2
工業Ⅱ群									2															2
工業Ⅰ類 工業Ⅱ類									1															1
工業化学	5								1	1						1	2							9
工業技術	11	1	7	2		1		5	2	1			1		2	1	2	5	1	1				43
工業技術類工業デザイン	2										1 1								-					3
工業マイスター	2										1													1
航空工学								1																1
航空車両整備 工芸	2					1																		3
交通工学	1				1	1																		2
高分子技術	1																							1
高分子工学 コミュニケーションシステム工学	1																		-			1		1
コンピュータ	2																					1		2
コンピュータAI																				1				1
コンピュータ応用技術 コンピュータ機械工学	1																		-					1
コンピュータテクノロジ	1					1																		1
材料化学	2					1									1									4
材料技術	17 1											4	-		-			-	-	1				22
材料工学 材料設備	1				1																			1
産業	1	1							1		1													4
産業革新 産業技術	3			1				1	1				-		-			1	1	-				2 6
産業技術 産業技術Ⅱ科	1			1				1	1															1
産業工学											1													1
産業デザイン	4	1							1		1								1					6
システム化学システム機械	5 1		 			1				-	1		<u> </u>	-	 	-		 	 	 	-			6 2
システム工学	1				1		1	1																4
システム工学系 システム工業									1				<u> </u>						1	1				1
システム上業システムサイエンス	1		-						1	-				-		-		-	1		-			1
システム情報											1													1
自動車	5							2		1	1				1	1	1				2			14
自動車機械システム 自動車工学	2	1	-			1				-				-		-		-	1		-			3
自動車整備	1	1						1		2					1									5
住環境システム								1																1
住居デザイン情報	6												-		1				-	-				7
情報科学	6			1	1			2							1									10
情報環境					_			1																1
情報機械	1									<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		1	1		<u> </u>	<u> </u>	$oxed{oxed}$	3

新設学科名	H10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
情報技術	年度以前	11	12	10	11	10	10	2	10	1	20	21			1	1	1	21		23	00	1(1	112	87
情報技術分野	01									1					1	1								2
情報ケミカル	1																			-				1
情報建設 情報工学	2					1			1												1	1		6
情報システム	8					1	1	1		1							1							13
情報処理	1																							1
情報制御 情報繊維	1 2																							2
情報通信系列																	1							1
情報通信工学	2			1	1											1	1							5
情報通信システム				1												1								2
情報テクノロジー 情報デザイン								1													1			1
情報電気					1			1																1
情報電子	20			1	1	1	1	1			1								1					27
情報電子系列										1														1
情報ビジネス 情報メディア							1										1							1
情報理数	1																1							1
食品工業	1																							1
新素材工学																				1				1
<u>数理</u> 数理工学	3	-		-			-	-	-	1	1				-					-				4
生活化学	1									1										<u> </u>				1
生活工学																	1							1
生活文化																				1				1
制御技術制御工学		-		-	1		-	1	-	-	-				1			1	1	-	1			1 5
制御システム	1	-		-			-	1	-	-	-				1			1	1	1	1			1
制御情報				1	1																			2
生産機械	1																							1
生産技術 生産工学	1	1			3						1			1										5 2
生産システム	3			1	1					1	1													6
生物化学	1				1					1														1
製薬技術	1																							1
設備・エネルギー 設備工業	5												1											1 5
設備システム	13																							13
セラミック	9															1	1							11
セラミックアーツ								1																1
セラミック化学 染維技術	1									1														1
繊維工業	3																							3
繊維工芸	1																							1
繊維システム	2																							2
染維デザイン 繊維デザイン	3												1											2
染色システム	1												1											1
造形																				1				1
総合									1		1	4			2	1	1	5		ļ				14
総合科学 総合科学類									1		1													1
総合技術	7	4				3	1	2			_	1	1		1			1	1					22
総合工科																		1	1					2
総合工学						1			1	1														3
総合情報 総合造形						1		1	1											1				1 2
総合デザイン										2														2
総合電気			1		1																			2
総合電気電子システム 創造技術		-		-			-	1	2	-	-				-					-		1		1 3
剧垣技術 創造工学											1									1	1	1		3
素材化学	1																							1
素材システム	1																							1
地域創造工学 通信工学	1	-		-			-	-	-	-	-				-					-			1	1
理信工子 テキスタイル工学	3																			<u> </u>				3
テキスタイルデザイン	4										1													5
テキスタイルデザイン工学	1															1								2
テクニカル工学 デザイン	6		-		-	-	1		-	2		1			1	1	1	-	-	-	-	-		13
デザイン・絵画	U						1					1			1	1	1			1				13
デザイン工学	1						1					_												2
デザインシステム	1																							1
デジタル工学							1	1												-				1
鉄道 デュアルシステム	-	-		-			1	1	-	-	-				-					-				1
電気	15			1	1		1	3	3				1	1	4	5	6	1		1				43
電気・機械											1													1
電気・建築													2											2
電気·情報技術 電気·電子	3	-	1	-	1	1	2	2	4	-	-				-		1	-	-	}	-	-	1	5 11
電気・電子工学	J		1		1	1			1											t			1	1
	•																							

新設学科名	H10 年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
電気・エネルギー																						1		1
電気エネルギー	2					1									1									3
電機応用工学 電気機械						1			1															1
電気技術				1					1															1
電気技術類											1													1
電気系									2															2
電気建設システム														1							1			1
電気建設工学 電気工学	1	1				1		1	1			1						1	1		1			9
電気システム	2	1		2		1		1	1			1			1	1	1	1	1		1		2	11
電気情報	2				1			3	1	1	1		1		1								2	13
電気情報系																				1				1
電気情報工学	0		1				1			1										-	-1		1	2
電気情報システム電気設備	2		1							1		1									1			5 1
電気通信	1																							1
電気テクノロジー																					1			1
電気電子										1								1	1			1		4
電気電子工学 電気電子システム	-		-	1				1										1		-		1		2
電子情報システム	2		1	1				1																4
電子	22						1									1	1							25
電子·情報											1					1								2
電子機械	200	1	2	1	2			1	1		1	-1	1	1	3	1	1			1				217
電子機械工学電子技術	2	-	1	 	-	 	-		-			1	 		-			 	-	1				2
電子工学	6	1		H		H		1				1	H		1			1	1					12
電子工業	1																							1
電子コミュニケーション	1		4	_	-	_		4					_					_		<u> </u>				1
電子システム 電子情報	11	1	1	-	1	2	-	1	-				1	1	-		1	1	1	-		1		3 20
電子情報技術	11	1								1			1	1			1	1	1			1		1
電子制御	2																							2
電子通信		1																						1
電子電気	5			1																			1	6
都市·建築 都市環境	1			1	1			1					1										1	4
都市環境システム				1	1			1					1								1			1
都市基盤工学														1										1
都市建設	1																							1
都市工学都市システム	8		1				1	2	1							1	1			-				15 2
土木環境	1						1					1												1
土木技術								1																1
土木系									1															1
土木工学 土木	5							1	1	1		1			2	1						1		2 11
土木環境工学	- J							1	1	1						1					1			1
土木環境システム					1																•			1
土木建築	2								1		1				1									5
土木情報 土木地質	1		1																					2
Ⅱ類	1		1															1						1
パワーエレクトロニクス						1												_						1
ビジネスコミュニケーション											1													1
ビジュアルデザイン	1	-	-	-	-	-	-		-				-		-			-	-	-				1
美術デザイン ファッション技術	2	-	1		-		-	1	-	-	-			-	-				-	1		-		2
ファッション工学	1																							1
福祉情報			1																					1
服飾デザイン 普通科ベーシック群	1		1						1											1				1
<u> </u>	 	-	1		-		-	-	1	-	-			-	-				-	1		1		1
物質工学								1														_		1
プロジェクト工学																		1	1					2
プロダクト工学	-		<u> </u>	_		_	1						_			1	4	_		<u> </u>				1
プロダクトデザイン マテリアル	1	-	-	-	-	-	-		-				-		-	1	1	-	-	-				3
マルチメディア系列	1									1														1
メカトロ情報	1																							1
メカトロニクス						2				1														3
メカトロニクス系列	<u> </u>		1							1										1				1
メカニック分野 モダンクラフト	1	-	1	\vdash	-	\vdash	-	-	-	1	-		\vdash	-	-			\vdash	-	1		-		1
ものづくり	1			H		H							H				2	H		1				3
ものづくり機械													1							Ĺ				1
ものづくり創造専攻																					1			1
薬品科学 やまがた創造工学	1	-	-	<u> </u>	-	<u> </u>	-	-	1	-	1		<u> </u>	-	-			<u> </u>	-	-		-		2
山形創造工学	 	-	 	\vdash	-	\vdash	-		-		1		\vdash		-			\vdash	-	 				0
ユニバーサルデザイン			L					1												L				1
理工	1	1																						2
理工科	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1			-		-	1	1	-	-	-				3
理工環境	<u> </u>			Ь		Ь		1		<u>. </u>	<u>. </u>		<u> </u>	<u>. </u>		1	1	Ь	<u>. </u>	Ь		<u>. </u>		<u>3</u>

新設学科名	H10 年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
理数工学					1									1				1	1					4
ロボット電気																					1			1
ロボット技術																					1			1
ロボット工学	1												1	1	1								2	6
ロボットシステム								1																1
금 計	776	23	29	34	35	41	31	75	69	43	38	25	22	9	40	43	52	43	26	18	23	16	23	1534
累計	776	799	828	862	897	938	969	1044	1113	1156	1194	1219	1241	1250	1290	1333	1385	1428	1454	1472	1495	1511	1534	$\overline{}$

昭和57年度以降の工業に関する学科廃止状況(名称変更も含む)

〈全工協会全国工業高等学校要覧より〉

I 類	1 R2	計 1 1 1 1 5
廃止字枠名 年度以前 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 月 I 類 II 類 II I	1 R2	1 1 1 1
T類		1 1 1 1
II 類		1 1 1
 Ⅲ類 Ⅲ類 IT工学 印刷 4 1 2 3 4 4 5 1 7 8 1 1 1 1 2 3 4 4 5 1 1 2 3 4 4 5 1 1 1 2 3 4 4 5 1 1 1 2 3 4 4 5 1 1 2 3 4 4 5 1 1 1 2 3 4 4 5 1 1 1 2 3 4 4 5 1 1 1 1 2 3 4 4 5 1 <l< td=""><td></td><td>1 1 1</td></l<>		1 1 1
II 類 TT工学		1 1
IT工学		1
IT工学		
印刷 4		
印刷化学 1 印刷工業 1 インテリア 13 インテリアデザイン 1 漆芸 1 運輸 1 エネルギー技術 1 エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1		1
印刷工業 1 インテリア 13 インテリアデザイン 1 漆芸 1 運輸 1 エネルギー技術 1 エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1		1
インテリア 13 1 2 3 4 4 5 1 インテリアデザイン 1 1 1 1 運輸 1 1 1 エネルギー技術 1 1 エレクトロメカニクス 1 1 園芸科学 1 1 応用化学 1 1 応用デザイン 1 1		
インテリア 13 1 2 3 4 4 5 1 インテリアデザイン 1 1 1 1 運輸 1 1 1 エネルギー技術 1 1 1 エレクトロメカニクス 1 1 1 園芸科学 1 1 1 応用化学 1 1 1 応用デザイン 1 1 1		1
インテリアデザイン 1 漆芸 1 運輸 1 エネルギー技術 1 エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1		34
漆芸 1 運輸 1 エネルギー技術 1 エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1		
運輸 1 エネルギー技術 1 エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1		2
運輸 1 エネルギー技術 1 エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1		1
エネルギー技術 エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1	_	2
エレクトロメカニクス 1 園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1	1	
園芸科学 1 応用化学 1 応用デザイン 1		1
応用化学 1 応用デザイン 1		1
応用化学 1 応用デザイン 1		1
応用デザイン		1
	_	-
		1
カー・テクニカル		1
開発工学 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3
	_	
開発土木 5 1 1 1		7
化学・デザイン 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 2 1		3
化学応用 1 1 1		2
1000年 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+	
化学技術 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		6
科学技術 1 1		1
化学工学 30 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1		38
化学工業 8 2 2 3 1 2 3 1	1	22
	+	T .
化学システム		1
カラーリングアーツ		1
環境・電気情報システム 1 1 1	1	2
	+	
環境エネルギー 1		1
環境化学 1 2 1 1 2 1 1 1 1		10
環境科学 1 1 1		2
	+	
環境クリエイト		1
環境建設 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3
環境工学 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		4
水穴上	_	1
環境工学系列 1 1		1
		5
環境土木		2
	. 8	418
100 12 10 29 10 20 1 10 20 20 21 0 9 0 0 4 4 0 0 0 3 4	: 0	
機械·電気 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		4
機械技術 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		5
機械工学 2 1 1 1 1 1 1 1		9
	_	
機械工作 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		2
機械システム 1 1 3 1 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1		17
機械制御 1 1		1
		3
機械設備システム		1
機械テクノロジー		1
機械テクノロジー系列		1
	_	1
機械電気 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		4
機械プランニング		1
機関		1
	+ -	1
キャリア技術	1	1
京都伝統産業		1
金属加工 1		1
<u> </u>		1
	+	
金属工業 25 1 1 1 1 1 1 1 1 1		26
金属工芸 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3
7571		1
	+	
1// ラフ / シ / ア - ツ -	-	2
グラフィックアーツ 1 1 1	1	25
建設 5 1 1 2 8 1 1 3 1 2 2		4
建設 5 1 1 2 8 1 1 3 1 2 2	- 1	4
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1	+	
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1 1 建設工学 1 1 1 1 1 1		
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1 建設工学 1 1 1 1 1 1 建設システム 2 2 1 1 1 1		5
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1 建設工学 1 1 1 1 1 1 建設システム 2 2 1 1 1 1	1	
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 2 1 1 1 1 1 建設工学 2 2 1 1 1 1 1 建設設備 2 2 1 1 1 1 1	1	5 1
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1 建設工学 1 1 1 1 1 1 建設システム 2 2 1 1 1 1 建設設備 2 1 1 1 1 1	1	5 1 2
建設技術 2 建設技術 2 建設工学 1 建設システム 2 建設設備 建設デザイン 建築 33 2 4 6 10 1 11 1 11 1 12 2 2 2 2 2 33 2 4 6 10 5 4 8 12 9 6 5 2 3 1 2 3 3 1 2 3 3 1 2 3 3 1 2 3 3 1 3 2 4 6 4 6 4 6 5 6 6 7 7 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 2 4 6 6	1	5 1 2 120
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1 1 1 建設ンステム 2 2 1	1	5 1 2
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1 1 1 建設ンステム 2 2 1	1	5 1 2 120 1
建設技術 2 建設技術 2 建設工学 1 建設ンステム 2 建設設備 建設デザイン 1 建築・木材 33 建築環境 1 1 1 1 1 1 1 1 2 33 2 4 6 10 5 4 8 12 9 6 5 2 33 1 2 2 33 2 4 6 10 5 4 8 1 1 </td <td>1</td> <td>5 1 2 120 1 3</td>	1	5 1 2 120 1 3
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設技術 2 1 1 1 1 1 1 建設工学 2 2 1 1 1 1 1 建設設備 2 2 1 1 1 1 1 建築デザイン 33 2 4 6 10 5 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築環境 1 1 3 1 1 1 1 1 建築工学 1 1 3 1 1 1 1	1	5 1 2 120 1 3 5
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設大停 1 1 1 1 1 1 1 建設工学 2 1 1 1 1 1 1 建設設備 2 2 1 1 1 1 1 1 建築デザイン 1 1 2 3 1 3 1 2 3 建築・木材 2 2 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築環境 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 1	1	5 1 2 120 1 3
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設大停 1 1 1 1 1 1 1 建設工学 2 1 1 1 1 1 1 建設設備 2 2 1 1 1 1 1 1 建築デザイン 1 1 2 3 1 3 1 2 3 建築・木材 2 2 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築環境 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 1	1	5 1 2 120 1 3 5
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設大符 2 1 1 1 1 1 1 建設ンステム 2 2 1 1 1 1 1 建設デザイン 1 1 1 1 1 1 建築 33 2 4 6 10 5 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築・木材 2 2 1 3 1 1 1 1 1 1 1 2 3 1 3 1 2 3 1 3 1 2 3 3 1 2 3 3 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 3 1 4 3 1 4 3 3 1 3 1 3 3 1 3 3 1 3 3 3 3 3 3 3 3 4	1	5 1 2 120 1 3 5
建設技術 2 建設技術 2 建設工学 1 1 1 1 1 1 建設システム 2 2 1 1 1 1 建設産備 2 1 2 1 2 建築・ボイオ 2 4 6 10 5 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築・木材 2 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築環境 1 1 3 1 1 1 建築システム 1 3 1 1 1 建築デクノロジー 2 1 1 1 1 建築デザイン 1 1 1 1	1	5 1 2 120 1 3 5 1 1
建設技術 2 建設技術 2 建設工学 1 建設システム 2 建設設備 2 建設でザイン 1 建築 33 2 4 6 10 5 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築環境 1 1 3 1 </td <td>1</td> <td>5 1 2 120 1 3 5</td>	1	5 1 2 120 1 3 5
建設技術 2 建設技術 2 建設工学 1 建設システム 2 建設設備 2 建設 デザイン 1 建築 33 2 4 6 10 5 1 1 1 1 1 1 1 2 2 33 2 4 6 10 5 4 8 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 33 2 4 6 1 1 1 1 1 1 2 2 3 1 4 1 4 1 4 1 4 1 5 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 5 1 6 1 </td <td>1</td> <td>5 1 2 120 1 3 5 1 1</td>	1	5 1 2 120 1 3 5 1 1
建設技術 2 建設大術 2 建設工学 1 建設システム 2 建設設備 1 建築・木材 1 建築環境 1 建築工学 1 建築・大材 1 建築丁子ム 1 建築テクノロジー 1 建築デクノロジー 1 建築デイン 1 原動機 1 原動機械 1	1	5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1
建設 5 1 2 8 1 1 3 1 2 建設工学 1 1 1 1 1 1 1 建設ご子 2 2 1 1 1 1 1 建設設備 2 2 1 1 1 1 2 3 建築 ・木材 33 2 4 6 10 5 4 8 12 9 6 5 2 3 1 3 1 2 3 建築環境 1 1 3 1 1 1 1 1 1 建築工学 1 1 3 1	1	5 1 2 120 1 3 5 1 1 1
### (Part of the proof of th	1	5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1 1 1
### (Part of the proof of th	1	5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1
建設技術 2 建設工学 1 建設システム 2 建設競備 1 建設デザイン 1 建築・木材 1 建築環境 1 建築・ステム 1 建築・大材 1 建築・大材 1 建築・ステム 1 建築・ステム 1 建築・ステム 1 建築・ステム 1 建築・ステム 1 建築・アノロジー 1 建築デクノロジー 1 建築デザイン 1 原動機 1 1 1 工学 I 類 1 工学 I 類 1 工学 I 類 1 工業 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1 1 1 1 49
建設技術 2 建設工学 建設工学 建設設備 建設デザイン 建築・木材 建築・木材 建築・木材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築デクノロジー 建築デクノロジー 建築デクノロジー 建築デイン 原動機械 工学 I 類 工学 I 類 工学 I 類 工学 I 類 工業 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 1 1 1 1 1 2 <		5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1 1 1 1 49
### は は は は は は は は は は は は は は は は は は		5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1 1 1 1 49
建設技術 2 建設工学 建設工学 建設設備 建設デザイン 建築・木材 建築・木材 建築・木材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築・大材 建築デクノロジー 建築デクノロジー 建築デクノロジー 建築デイン 原動機械 工学 I 類 工学 I 類 工学 I 類 工学 I 類 工業 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 1 1 1 1 1 2 <		5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1 1 1 1 49
建設技術 2		5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1 1 1 1 49 1 1
#理談技術 2		5 1 2 120 1 3 5 1 1 1 1 1 1 1 49

廃止学科名	H10 年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
工業科学	十及以前																							1
工業家庭	3																							3
工業技術 工業経営	2								1		1	1			1	1	_11				1	_11		8
工業計測	6																							6
工業デザイン	4			1			1	1	1	1	1					1								11
航空車両整備	1																				1			1
航空整備 工芸	1																							1
交通工学	1				1		1	1																4
高分子技術			1																					1
高分子工学 国際工学			1																	1				1
国際情報技術								1																1
コンピュータ学							1	1					1											2
コンピュタ応用技術 コンピュータ情報技術							1	1												1				1
材料•設備								1																1
材料技術	1	1							1	1	1	1	1											6
材料システム 産業												1		1										1
産業機械						1		1																2
産業技術	2	1											1		1							-1	-	5
産業工学 産業デザイン	1		\vdash	 							2											1		3
色染化学	14										1													15
システム化学						1		-		1													\Box	2
システム機械 システム技術					-		1	1	-	1						-			-					2
システム工学										1	1							1	2					4
システム工業																		1						1
システム情報 自然科学										1							1							1
自動車	12	1	1			2	2	1	1	5	2		1	1	2	2	1	2		1	1		1	39
自動車·造船	1																							1
自動車エンジニア 自動車工学	1							1	1	1														1 4
自動車整備科	1							1	1	1	1													1
自動制御								1		1														2
写真工芸 住環境工学	1												1											1
住居デザイン	1												1				1							2
情報				1	1					1						1	1			1				6
情報科学 情報機械	2					1					1							2	1				1	7
情報技術	6	1	2	2	1	3	2	3	8	6	1	3			2			3		1	3	3	1	51
情報コミュニケーション											1							2						3
情報システム 情報システム工学	1							1		1						1		1			2			7
情報処理													1					_1_						1
情報繊維	1																						1	2
情報通信工学	2		1							1														4
情報デザイン 情報電気	1									1														1 1
情報電子		1	1	2	1				1	1								1						8
情報マルチメディア 情報理数											1						1						-	1
情報埋数 食品化学	1		\vdash	 						1							1							2
食品工業	2	1								_														3
水中土木	1			<u> </u>							1													1
数理環境 数理システム			 	 	 				 		1				<u> </u>	 			 	-				1
数理情報											1					1								2
生活工学										1										1			-	2
制御工学					-				-	1				1		2	2	1	-	-				6
制御システム									1								ت	1						1
生産機械	3								1															4
生産技術生産システム			-	-		1					1				1			1			1			2 4
生物科学			L						1															1
精密機械	4																							4
製薬技術 設計計測	9								1															9
設備工学	Э		 	 	 	1		1	 						<u> </u>	 			 	-				2
設備工業	11	1						1	3	2			1	1										20
設備システム	-			1	1				2	-1			1					-		-1				5
セラミック 繊維	1				-				1	1						-		1	-	1				5 1
繊維工学	28				1				1	1					1									31
繊維工業	12							1																13
繊維工芸 繊維システム	2				-				1	1						-			-	-				2
繊維デザイン		1				L				1														2
			•	•	•			•	•						•	•								

登録性	廃止学科名	H10 年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
受けていません。	染織	1	1																						1
銀合学			1																				1		_
接合子子	総合学																					2	•		2
登出機能	総合技術	1	3	3				1	_			2	1				2	1				1		2	
接受部を の選手機	総合上字 総合信却								1		1								1						
接受達成子シアム	総合電気										1									1					_
飲食 1 1 1 1 1 1 1 1 1	総合電気電子システム											1													1
学師 6	創造技術																			1					_
### 1		6				1	1		1											1	1			1	
無理	素材化学	0			1	1	1		1												1				
世域産金 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	第一機械																								
接質で学 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		1											1												
医薬 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1		2									1												
源行で学 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 0 1 0	図案	1																							_
デキスタイルで学行。	通信																								
デスタルデザイン工学 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2		1																1	1						_
データ・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・	テキスタイルT学		-	\vdash	-	-	 	-		1	-						1	1	1	-					
デザイン 7 7 8 8 1 7 11 19 23 17 5 14 27 22 19 6 6 2 7 3 3 3 4 2 3 5 3 8 22 2	テキスタイルデザイン	1	1									1													3
デザンマチ							-1	-1	-1			1	-1			-			_		0				
羅弦 88 7 7 1 19 23 7 5 14 27 22 19 6 6 2 7 8 3 4 2 3 5 3 8 29 20 20 20 20 20 20 20		(1	1	1		<u>Z</u>	1	1			1	1		1		<u> </u> ర				
電気性影的	電気	81	7	11	19	23	17	5	14	27	22	19	6	6	2	7	3	3	4	2	3	5	3	8	
電気電子移検	電気•情報技術																		1				1		2
電気に行う 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	電気・電子	1				1			_1						1										
電気店 アンテム	電気・電子機械 電気エネルギ		-	\vdash	1	-	 	-			1				1					-		1			_
電気は溶 2	電気応用システム											1													1
電気工学 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	電気化学		1	1				1	1																
電気上等 1		2						1	1	1															
電気信報	電気工事	1								1															
電気酵像 2 P A	電気システム																	1	1						
電気融信 電気電子 電子 電		1					1								2		1	1			1				
電気電子 47 2 7 7 5 7 5 7 5 10 5 3 4 2 2 2 1 1 1 1 1 1 3 114 1 1 3 114 1 1 1 1 3 114 1 1 1 1	電気設備	1					1														_				
電子・電気	電気電子													1									1		
電子機械 13	電子電子	47	2	7	7	5	7	5	10	5	3			2		2	1		1	1		1	1	3	_
電子技術 電子計測 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 13 電子工学 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 13 電子工学 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		13			7	8	4	4	9	13	5	1	2	2	1	3			4	2	3	4	1	6	_
電子工学 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 2 13	電子技術	10				Ŭ																			
電子工業 2 1 1 1																									_
電子コミュニケーション 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1	-					_	2	1		1			1	1	1				1	2	
電子が料 電子が見信 開発科学技術 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	電子コミュニケーション			1	1							1										1			
電子情報	電子材料	1																							1
電子通信				1		1				1	1	1			1		1	1							1
開路科学技術				1		1				1	1				1		1								
都市工学 1	陶器科学技術								1																
### A	時計計器						1			1		1			- 0	1	1	1	1						
土木		1			-		1	-	1	1	-	1			Z	1	1	1	1	-					
土木地質 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	土木	47	1	6	3	5	6	5	_	8	3	8	3	5	1	3		1	1			2	1		114
土木地質工学 1 1 1 人間社会 1 1 美術 1 1 プロダクトデザイン 1 1 無線通信 3 3 メカトロクス 1 1 メカトロクス 1 1 メカニカルテクノロジー 1 1 メカニカルテクノロジー 1 1 メカニカルテクノロジー 1 1 メカニカルテクノロジー 2 1 メカニカルテクノロジー 1 1 メカニカルテクノロジー 2 1 メカニタク 1 1 本材工芸 1 1 まのより 1 1 東 業業 1 1 1 1 2 東 業業 1 1 東 監察 1 1 東 品外市 1 1 東 出外市 1 1 <td< td=""><td>土木建築</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	土木建築											1									-1				
土木地質工学 1 人間社会 1 美術 1 プロダクトデザイン 1 無線通信 3 メカトロ機械 1 メカトコクス 1 メカニカルテク/ロジーメカニック 1 木材工芸 1 モダンクラフト 2 ものづくり 1 薬学 1 東 ※業 1 東 温科学 1 薬品科学 1 薬品製造 1 薬品の折 1 セメントのデザイン 2 窓業 9 窯業機械 2		3	-		-	-		1	1	1	-	1								-	1				
人間社会 1 養術 1 プロダクトデザイン 1 無縁通信 3 メカトロ機械 1 メカトロクス 1 メカニカルテクノロジー メカニカルテクノロジー メカニカルテクノロジー 1 メカニカルテクノロジー 1 メカニカック 1 木材工芸 1 モゲンクラフト 2 ものづくり 1 薬学 1 工業 1 東京会官 1 1 1 薬産経営 1 京 監察 1 東品製造 1 コースニーサルデザイン 2 窓業 9 窯業機械 2	土木地質工学	1																							
プロダクトデザイン 1 1 1 2 2 無線通信 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3	人間社会										1														
無線通信 3	美術プログクトデザイン	1	-		-	-		-			-							1	1	-					
メカトロニクス 1 メカニカルテク/ロジー 1 メカニック 1 木材工芸 1 モダンクラフト 2 ものづくり 1 薬学 1 工業業 1 東 業務 1 東 張森田科学 1 東品製造 1 東品分析 1 ヤきがた創造工学 1 ユニバーサルデザイン 2 窯業 9 窯業機械 2		3		 	 		-	 			 							1	1	 					
メカトロニクス 1 メカニック 1 木材工芸 1 モダンクラフト 2 ものづくり 1 薬学 1 重業 1 東 業経営 1 薬品科学 1 エ 素品製造 1 薬品分析 1 やまがた創造工学 1 エニバーサルデザイン 9 窯業 9 窯業機械 2	メカトロ機械	Ĭ			1																				1
メカニック 1 1 2 木材工芸 1 1 1 1 1 モダンクラフト 2 1 1 1 2 ものづくり 1 1 1 2 薬学 1 1 1 3 薬業経営 1 1 3 3 薬品科学 1 1 1 1 薬品製造 1 1 1 1 マまがた創造工学 1 1 1 1 二二バーサルデザイン 2 2 2	メカトロニクス										1								1						_
木材工芸 1 モダンクラフト 2 ものづくり 1 薬学 1 薬業 1 東 業経営 1 薬品科学 1 薬品製造 1 薬品製造 1 変出製造 1 マミがた創造工学 1 ユニバーサルデザイン 1 窯業 9 窯業機械 2			-	 		-					1	1										1			
モダンクラフト 2 ものづくり 1 薬学 1 薬業経営 1 薬品科学 1 薬品製造 1 薬品分析 1 やまがた創造工学 1 ユニバーサルデザイン 1 窓業 9 窯業機械 2	木材工芸	1																							1
薬学 1 1 薬業経営 1 1 薬品科学 1 1 薬品製造 1 1 薬品製造 1 1 薬品分析 1 1 やまがた創造工学 1 1 ユニバーサルデザイン 1 1 窯業 9 9 窯業機械 2 2	モダンクラフト						2																		
薬業 1 1 1 薬品科学 1 1 薬品製造 1 1 薬品分析 1 1 やまがた創造工学 1 1 ユニバーサルデザイン 1 1 窯業 9 9 窯業機械 2 2	ものつくり		-	-		-						1						1			1				
薬品科学 1 薬品製造 1 薬品製造 1 薬品分析 1 やまがた創造工学 1 ユニバーサルデザイン 1 窯業 9 窯業機械 2	<u>楽子</u> 薬業	1	-	\vdash	-	1	 	-			-	1								-					
薬品科学 1 薬品製造 1 薬品分析 1 やまがた創造工学 1 ユニバーサルデザイン 1 窯業 9 窯業機械 2	薬業経営	1																							1
薬品分析 1 やまがた創造工学 1 ユニバーサルデザイン 1 窯業 9 窯業機械 2		1								1															_
やまがた創造工学 1 ユニバーサルデザイン 1 窯業 9 窯業機械 2		1	-		-	-		-			-									-					
ユニバーサルデザイン 1 1 1 窯業 9 9 9 9 9 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	やまがた創造工学	1																_1							
窯業機械 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 <td>ユニバーサルデザイン</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	ユニバーサルデザイン																				1				
		9	l	1				<u> </u>			<u> </u>									<u> </u>					
	<u>窯業</u> 空業機械																								٠,

廃止学科名	H10 年度以前	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
理工科											1													1
理数工学																					1		2	3
ロボット工学									1															1
																								0
合 計	781	47	67	98	98	108	50	111	154	123	120	38	43	28	42	51	61	70	21	35	37	25	41	2249
累計	781	828	895	993	1091	1199	1249	1360	1514	1637	1757	1795	1838	1866	1908	1959	2020	2090	2111	2146	2183	2208	2249	

教育課程委員会 年度別調査項目一覧表

年 度	調査項目	訓	1 査	対	象
平成 21 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 教育制度・学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 22 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程・学科編成について 2 教育制度・学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	査
平成 23 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程・学科編成について 2 教育制度・学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 24 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 25 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 26 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 27 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 28 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 29 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
平成 30 年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	査
令和元年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	查
令和2年度	「教育課程」に関する調査 1 教育課程について 2 学校改革について 3 産学連携・地域連携について 4 学習指導・評価について	悉	皆	調	査